



SHIME 80周年 TOWN  
志免町制  
記念誌



# ここからはじまる物語

「あの大きな建物…。あれなに？」

彼女は、それが何か理解できず、

そこにそびえたつコンクリートの建物を見つめている。

「昔ね、このあたりは炭鉱のまちだったんだ。そのための…。」

得意げに話す僕の話には耳もかさず、

こんどは建物を見上げている。

「あの三角の山も、かわいいねー!」

「あれはね、石炭をね…。」

「パー!見てみてー!!」

町の話を始めようとした瞬間、大きな声でかき消された。

「ねー。トンボ捕まえたんだよー!すごいでしょー!」

無邪気な子どもの眼を見たり、思わず笑ってしまった。

子どもの頃の自分にそっくりな笑顔が、

そこにたたずんでいた。

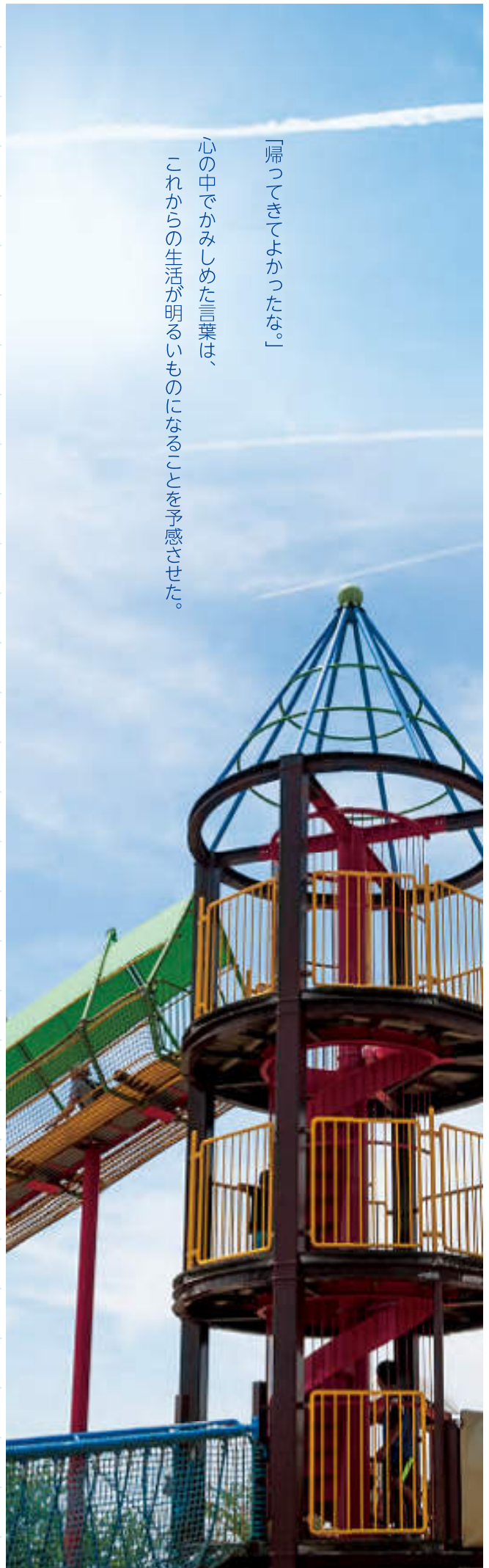
# 志免町制 80 周年記念誌



## Contents

3	目次
4	写真で彩る志免町
10	<b>志免町クロニクル</b>
10	原始から近代まで 〔七夕池古墳〕
14	町制施行から現在まで
	◆1939 → 1988      ◆1989 → 1993
	◆1994 → 1998      ◆1999 → 2003
	◆2004 → 2008      ◆2009 → 2013
	◆2014 → 2019
	〔鉄道と緑道〕 〔2つのかるた〕
32	志免町 あの日あのと看
36	<b>誰もが輝く住みよい町にするために</b>
40	まちとともに暮らしていく！
44	広報で振り返る平成の志免町
46	民俗行事と文化財
47	絵で見る平成時代
48	志免町キャラクターだよ！全員集合
49	<b>数字でみる平成の志免町</b>
58	志免町イラストマップ
59	発刊にあたって

「帰ってきてきてよかったな。」  
心の中でかみしめた言葉は、  
これからの生活が明るくなることを予感させた。



# 写真で彩る志免町

## おうか 桜花の色彩

町花でもある桜。町内には桜の名所が点在しています。ここに紹介する公園のほかにも、日枝橋付近や水車橋公園などが人気のスポットです。

### 志免総合公園

所在地 大字南里 640-1 外  
(P59 MAP : ⑤)

アクセス 西鉄バス  
(博多の森テニスコート前バス停) 下車  
徒歩5分

駐車場 20台



### 志免福祉公園

所在地 片峰3丁目 2128-1 外  
(P58 MAP : ⑥)

アクセス 西鉄バス (福祉公園前バス停) 下車  
徒歩1分

駐車場 12台



### 桜丘中央公園 (御手水池公園)

所在地 大字吉原 7  
(P58 MAP : ④)

アクセス 西鉄バス (桜丘第三バス停) 下車  
徒歩2分

駐車場 なし



## いや 緑の癒し

町には自然と触れ合える公園が多くあり、緑あふれる癒しの空間が広がっています。

### 水車橋公園

所在地 片峰中央2丁目1876外  
(P58 MAP: ⑫)

アクセス 西鉄バス(坂瀬バス停)下車  
徒歩5分

駐車場 18台



### 中の坪公園

所在地 志免中央1丁目623-2外  
(P58 MAP: ⑨)

アクセス 西鉄バス  
(志免体育館バス停)下車  
徒歩1分

駐車場 38台



### 平成の森公園

所在地 大字吉原660外  
(P58 MAP: ⑬)

アクセス 西鉄バス(桜丘2丁目バス停)下車  
徒歩10分

駐車場 76台



平成の森公園にはバーベキュー場が併設され、夏を中心に賑わいをみせています。遊歩道を登ると展望台があり、町を見下ろすことができます。

## 時空を超えて

町にはいくつか神社や寺が点在しており、地域の方々の信仰の対象となっています。その他にも社や石碑があります。



御手洗八幡宮

所在地 御手洗2丁目8-20  
(P59 MAP : ①)

アクセス 西鉄バス（御手洗バス停）下車  
徒歩3分

駐車場 なし



亀山八幡宮

所在地 別府2丁目6-5  
(P59 MAP : ③)

アクセス 西鉄バス（南里バス停）下車  
徒歩5分

駐車場 なし



岩崎神社

所在地 志免4丁目4-1  
(P58 MAP : ⑮)

アクセス 西鉄バス（下志免バス停）下車  
徒歩6分

駐車場 10台



王子八幡宮

所在地 王子4丁目4-1  
(P59 MAP : ⑥)

アクセス 西鉄バス（日枝バス停）下車  
徒歩4分

駐車場 なし



南里から役場を望む

## 都市生活と自然の調和

ベッドタウンとして多くの住宅が立ち並ぶ志免町ですが、昔からの田園風景が残っているところもあります。宇美川沿いの桜並木や吉原地区の田園は、心を和ませてくれます。



別府西地区の高層住宅街



宇美川の桜並木  
(P59 MAP : ④)



吉原地区の田園風景

## ありし日との<sup>かいこう</sup>邂逅

かつて町民の生活を支えた国鉄勝田線。志免駅跡は、その面影をのこしつつ、鉄道公園として整備されています。  
(詳しくは、30ページの「鉄道と緑道」で紹介しています。) \*邂逅…偶然出逢うこと



### 志免鉄道記念公園

所在地 志免中央2丁目7  
(P58 MAP : ①)  
アクセス 西鉄バス (志免鉄道公園バス停) 下車  
徒歩1分  
駐車場 なし



### 緑道

所在地 町内  
(P58-59 MAP 参照)  
勝田線跡地は緑道として整備されました。昭和60年度から平成12年度にかけて舗装され、その全長は約10km (志免町6km、宇美町4.6km) にわたります。



### 上亀山駅跡公園

所在地 別府1丁目22  
(P59 MAP : ②)  
アクセス 西鉄バス (南里バス停) 下車  
徒歩3分  
駐車場 なし



## 音と光・にぎわい

町民の方々が中心になり開催されるイベントには、多くの方が集まり、町に活力を与えてくれます。



### タテコウヤライブ

平成 28 年から始まった音楽イベント。主催である「志免 68」のスタッフが「無理をしない」ながらも、参加者を楽しませるイベントを目指しています。

### 志免マルシェ

「志免から元気発信」を合言葉に、平成27年から始まった物販やワークショップなどのイベント。今では1000人以上の来場者を誇る人気のマルシェとなっています。



### しめ夏祭り in シーメイトグラウンド

平成 21 年から始まった「Team 前向き」主催のイベント。和太鼓やダンス・盆踊りも行われ、老若男女問わず楽しめるプログラムになっています。

### ともにともそうプロジェクト

平成 26 年から始まった冬のイベント。中の坪公園のシンボルツリーであるメタセコイアの木に 2 万個の LED 電球をともします。

# 志免町クロニクル

## 原始から近代まで

発掘調査の成果や考古資料・古文書でしか触れることのできない時代…。現在と異なる志免町の姿に思いをはせて、その歴史を紐解きます。



横枕遺跡 (右：石核、左：石刃)



### 〔原始・古代〕

かつての「糟屋郡」という区画は、現在の糟屋郡・古賀市・福岡市東区を含む地域でした。「糟屋」という地名は、1300年ほど前に登場します。それは、京都にある妙心寺の梵鐘に見られ、「糟屋評」という文字が刻まれています。「評」は「郡」を意味します。

その糟屋郡に位置する志免町は、旧石器時代から人々が生活していた様子が確認されています。横枕遺跡から見つかった旧石器は、佐賀県腰岳産の黒曜石という石材が使われていました。遺跡のあった別府周辺は旧石器時代末(約2万年前)のキャンプ地であったと想定されています。

弥生時代の終わり頃になると、志免町各地に様々な石材を使った墓が造られます。別府の亀山石棺は日本最大級の箱式石棺として特に有名です。この石棺は、粕屋町の大隈石棺や福岡市東区の名子道二号墳の被葬者とともに、「不弥国」を統治する者の一人ではなかったかと考えられています。この「不弥国」は、『魏志倭人伝』にも記載があるクニで、はるか昔から大陸との交流があった地域に、志免町が含まれるのでは？と古代ロマンに思いをはせます。

古墳時代の遺跡である、松ヶ上遺跡や七夕池古墳からは滑石で作られた



松ノ尾古墳群  
(P58 MAP : ②)



亀山石棺 (全景)  
(P59 MAP : ③)

## 〔七夕池古墳〕

(P58 MAP : 16)

田富にある七夕池古墳は、糟屋地区最大の円墳です。宇美川右岸の標高約 45 m の丘陵先端部にあり、昭和 50 (1975) 年 6 月 26 日に国の史跡となっています。

川原石で 3 段に葺かれ、直径 29 m、周溝幅は 3.5 m、高さ 3.7 m です。

墳丘中央に礫で組んだ竪穴式石室を設け、組合せ式木棺を設置していました。その内部から壮年女性の人骨が発見されています。

副葬品には、大刀、白玉・仿製内行花文鏡などがあり、なかでも、装飾品の琴柱形石製品の出土は九州で 8 例しかない貴重なものとなっています。古墳時代中期 (4 世紀末から 5 世紀初頭) に築かれた、「糟屋の君」の一族であることが想定されています。



七夕池古墳



出土品

装飾品が出土しています。また、松ノ尾古墳群では古墳時代初期の古式方墳が丘陵上に連なって築かれています。古墳時代の遺跡のなかで、特に注目されるのは、松ヶ上遺跡から滑石製品工房跡が見つかったことです。そこから出土した滑石製品は、世界遺産に登録されている沖ノ島から出土したものと同形のもので、ここで作られた滑石製品が、沖ノ島へと運ばれていたことを示すものかもしれません。

大化の改新 (646) 後、全国各地の土地と人民は、公地公民制という制度のもと、国のものとなりました。その後、自ら開墾した土地が永久に自分の土地として所有することができると、次第にその土地の利益を守るために、有力者に寄進されるようになります。「荘園」という体制で、志免町もそういった時代の流れに組み込まれていきます。



松ヶ上遺跡  
(右：白玉未製品、左：白玉)



松ヶ上遺跡の滑石 (舟形)



松ヶ上遺跡 滑石製品工房跡  
(P58 MAP : 20)



**岩崎神社**  
(P58 MAP : ⑬)



**西福寺 聖観音立像**  
(P58 MAP : ⑰)

**〔中世〕**

平安時代には志免町域には吉原荘と田富荘と呼ばれる荘園がありました。この荘園はもと宇美八幡宮の荘園でしたが、京都の石清水八幡宮に寄進されます。その結果、宇美八幡宮は、吉原荘と田富荘の管理者としての地位を固めました。

南北朝時代になると、この吉原荘には地域の人々により建立された「観応三年銘梵字石碑」が建てられます。この石碑は、観応3（1352）年に作られたもので、この「観応」という元号は、北朝の足利直義が使用していたものです。つまり、この地域は、北朝側の影響力が及んでいたと考えられるのです。そのほかにも、照阿上人（足利義満の孫）にゆかりのある田富の西福寺では、聖観音立像を本尊仏として信仰していました。このように中世の時代は、現在の志免町に見られる地名が出てくる時期であり、中央政権とのつながりをつながらせる時期になります。

**〔近世〕**

天正年間（1573～92）になって作成された「指出前之帳」によると、志免町域の村々は、別府・御手洗・南里・志免・吉原・田富の六ヶ村を数えることができます。

それぞれの村では田畑の耕作を中



**黒田二十四騎図絵馬**  
(P58 MAP : ⑮)



**古文書（四国遍禮道中日記）**



**観応三年銘梵字石碑**  
(P58 MAP : ⑰)



志免鉱業所とボタ山



坑道内での作業



志免村役場（昭和11年当時）



選炭工場（海軍燃料廠時代の選炭工場内）

### 近代

明治時代になり、政府により廃藩置県が行われると、明治4（1871）年に福岡県が設置されました。その後、明治11年11月1日、郡区町村制法の施行により、糟屋郡が発足し、明治22年の町村制施行で志免地域の旧6ヶ村が合併し、糟屋郡志免村が成立します。

この時から、石炭採掘が重要な位置を占め、志免村のいたるところで

心としていましたが、福岡藩の奨励により、和ろうそくの原料となる櫛を植樹していたことがわかっています。その後、主要な産業として、石炭の採掘が盛んに行われるようになります。その証として、岩崎神社の「黒田二十四騎図絵馬」が挙げられます。この絵馬は、安政3（1856）年に、「下場連中」という石炭採掘組合により、奉納されたとされています。

また、福岡藩の中老齋藤家の拝領山がある南里村でも、石炭の採掘が行われていました。しかし、採掘により村のため池の水が抜けるという被害が発生したため、齋藤家は石炭の採掘をやめたようです。

このように、江戸時代に各村々で

行われるようになります。民営としては、粕屋炭鉱・亀山炭鉱・田富炭鉱・月隈炭鉱・南里炭鉱・吉原炭鉱などが明治から大正にかけて開坑しています。

最も鉱区が大きかった、海軍経営の志免鉱業所は、明治22年の新原採炭所（須恵村新原、現須恵町）に始まり、明治39年に志免村で第五坑が開坑し、海軍工場などで使用する石炭の採掘をしていました。志免村には石炭運搬用の鉄道である博多湾鉄道（のちの香椎線）・筑前参宮鉄道（のちの勝田線）が敷かれ、社宅や商店街が広がります。

#### 参考文献

- 『志免町誌』
- 志免町文化財調査報告書『松ヶ上遺跡』・『七ヶ池古墳』・『横枕遺跡』・『横枕遺跡Ⅱ』・『横枕遺跡Ⅲ』・『亀山古墳』・『松ノ尾古墳群』

# 町制施行から現在まで

昭和14年4月に町制を施行し、「志免町」が誕生します。炭鉱の町から、どのようにして現在のようなベッドタウンへ変化していったのでしょうか。



志免尋常高等小学校 昭和16年頃

明治6年4月の志免町の学校は、楨幹小学（現在の八尋歯科医院あたり）と亀山小学（別府一公民館あたり）の2校でした。その後、楨幹小学は志免尋常小学校となり、明治45年に高等科を併置、志免尋常高等小学校（後に志免第一小学校、現在の志免中央小学校）と改称されました。この時には、現在の志免中央小学校の位置に移転していました。



耕地整理のようす 昭和10年代頃

耕地整理のために土をトラックで運んでいるところです。場所は現在の日枝から仮屋のあたりで南里水路（須川）のそばのようです。後ろに見える海軍燃料廠のボタ山の形から、遠い昔を感じさせられます。

## 1939→1988

（昭和14年～昭和63年）

### 町制施行から終戦へ

明治22年の村制施行以来、志免村は、福岡市に隣接する地理的条件と炭鉱の開発により、それまでの農村から一変しました。炭鉱従業員や炭鉱に関係する諸業種の増加、商店街の隆盛などにより人口は増加し、昭和10年には約1万9500人となります。

そのような背景のなか、村制施行50周年にあたる昭和14年4月17日に、「志免町」が誕生しました。

時代は、日中戦争から太平洋戦争と戦時色が強くなり、海軍管轄の志免鉱業所は増産体制を強化します。教育環境も一変し、町内の小学校は、全て国民学校と改称され、児童・生徒たちは軍需工場や農作業に駆り出されることになりました。

昭和20年8月に終戦を迎えると、日本は昭和27年まで連合国軍の占領下に置かれます。民主化に向けて様々な制度が大きく変更になりました。町でも、昭和22年4月に戦後初の公職選挙が実施され、26名の志免町議会議員が選出されます。昭和26年には「総務」「警察衛生」「土木産業」「社会教育」の常任委員会が置かれていました。

志免鉱業所は、海軍管轄から「運輸省門司鉄道局志免鉱業所」（のちに日本国有鉄道志免鉱業所と改称）に

### 志免町年表 昭和14年～昭和63年

- 昭和14年(1939)
  - ▼町制施行(4月17日)され志免町となる
- 昭和16年(1941)
  - ▼志免町各小学校を国民学校と改称する
- 昭和18年(1943)
  - ▼豎坑槽が完成
- 昭和19年(1944)
  - ▼志免町農業会が発足
- 昭和22年(1947)
  - ▼国民学校の名称を廃して小学校と改称する
- ▼志免中学校開校
- ▼志免町公安委員会を設置
- 昭和23年(1948)
  - ▼志免町自治体警察が発足
  - ▼志免町農業協同組合が発立
- 昭和24年(1949)
  - ▼志免第一小学校と第二小学校で学校給食を開始
- 昭和26年(1951)
  - ▼志免中学校新校舎が竣工
- 昭和28年(1953)
  - ▼6月25日西日本大水害
    - ・ 家屋半壊 3世帯
    - ・ 床上浸水 291世帯
    - ・ 床下浸水 519世帯
    - ・ 堤防決壊 4ヶ所
- ▼志免町制施行15周年祝賀式の開催
- 昭和31年(1956)
  - ▼志免町祭りどんたくの開催
- 昭和32年(1957)
  - ▼志免商工協同組合が発立



**共済会館** 昭和29年頃

志免鉱業所従業員の諸行事に使用された会館（国鉄時代には志免会館と呼ばれた）です。この会場には2000人収容でき、記念祭や慰安など大集会のほか映画も上映されました。娯楽の少ない戦後には、町民もよく見物に集まり娯楽場としても利用されました。



**サーカス風景** 昭和26年頃

志免鉱業所の繁栄のなか、町の娯楽といえば映画館や相撲巡業でした。大正町にはサーカスが訪れています。公演に訪れた象は大正町商店街などを練り歩き、多くの見物客で賑わいました。

**志免町制施行15周年祝賀式** 昭和28年11月

戦後、国鉄に移管された志免鉱業所のたくましい生産再開を背景に、町の再興を願う町制施行15周年記念式典が行われました。戦後のまだまだ続く苦難の生活に耐え、町全体が盛り上がった祭でした。



**志免鉱業所** 昭和35年頃

1957(昭和32)年には、21万トン以上も出炭していた堅坑も、1964年の閉山とともに稼働を停止します。現在、日本に現存する最大規模の堅坑櫓は、日本で唯一、開坑から閉山まで国営でありつづけた志免鉱業所の歴史を物語っています。

なりました。これまで軍事目的であった石炭が、復興のために使用されるようになり、蒸気機関車等の燃料として生産されるようになります。教育の分野では、昭和22年に「教育基本法」「学校教育法」が制定され、新たな学制が発足します。志免国民学校・志免第二国民学校は、それぞれ「志免第一小学校」「志免第二小学校」と改称されますが、志免第三国民学校は「新制志免中学校」に校地・校舎をすべて譲り、廃校になりました。

- ▼ 昭和34年(1959) 志免信用組合が設立
- ▼ 昭和37年(1962) 粕屋共立衛生施設組合が設立(志免・宇美・須恵・粕屋・篠栗・久山の6町)
- ▼ 町民運動会が始まる
- ▼ 昭和38年(1963) 志免町社会福祉協議会が発足
- ▼ 志免第一小学校が、NHK全国学校音楽コンクールの九州大会で最優秀賞を受賞(全国大会では優良賞を受賞)
- ▼ 昭和39年(1964) 志免保育園が開園
- ▼ 日本国有鉄道志免鉱業所が閉山
- ▼ 昭和43年(1968) 広報「しめまち」を創刊
- ▼ 志免電報電話局が開局
- ▼ 昭和44年(1969) 町制施行30周年、村制施行80周年記念式典を挙行
- ▼ (旧)志免町誌を発刊
- ▼ 昭和45年(1970) 北築前衛生施設組合「昇華苑」が設置
- ▼ 亀山鉱業所跡地に工場団地(A団地)が完成
- ▼ 昭和46年(1971) 「志免町総合計画基本構想」が完成
- ▼ 「志免町総合計画基本構想」が完成
- ▼ 志免町体育協会が発足
- ▼ 昭和47年(1972) 亀山保育園が開園
- ▼ 昭和48年(1973) 志免町土地開発公社を設立(平成28年)
- ▼ 志免第一小学校が志免中央小学校に、志免第二小学校が志免西小学校になる
- ▼ 粕屋南部消防組合消防本部が開設



### 祭りしめ 昭和57年～62年

ふるさと振興の願いを込め、現庁舎の完成（5月）にあわせて「祭りしめ」が行われました。各町内会の「子どもこし」や自衛隊音楽隊などが町を歩き、町民センター前の広場では1万人以上の人で賑わいました。運動会・文化祭とともに町の三大行事の1つでした。



### 志免町民大運動会

公民館主催で行われていましたが、昭和44年より町主催の町民大運動会となりました。現在、30町内会が参加する町の一大スポーツイベントとなっています。



### 昭和60年頃の志免町遠景

この時代の写真では、堅坑槽の右にシーメイトがありません。

昭和30年代にはいると、これまでエネルギーの主役だった石炭が、石油に代わる「エネルギー革命」の時代を迎えます。石炭産業は、物価の上昇に伴う採掘コストの上昇や、競合関係にある石油の値下がり原因となり、経営状態が悪化しました。その結果、労使間の紛争にまで発展してしまいます。志免鉱業所も業務縮小に向かうことになり、昭和39年7月に閉山宣言を行い、75年の歴史に幕を下ろしました。

志免鉱業所の業務縮小に伴い、志免町の人口は減少を始めます。昭和27年には2万3000人を超えていましたが、昭和30年末には1万6000人台まで落ち込みました。しかし、隣接する福岡市が大きく発展し、生活圏の広がりから、再び人口は増加に転じます。それに伴い、昭和40年代には、王子八幡・向ヶ丘・桜丘などの住宅団地が相次いで造成されていき、アパートの建設や住宅も増えました。そうして昭和53年には人口が3万人を超えました。

児童数の増加にあわせて、昭和49年には「志免東小学校」を、昭和52年には「志免南小学校」を相次いで開校しました。なお、昭和48年に、志免第一小学校は「志免中央小学校」に、志免第二小学校は「志免西小学校」

#### 昭和48年（1973）

- ▼ 7月30日・31日、福岡地方大雨災害
- ・ 死者、2人
- ・ 床上浸水 1966世帯
- ・ 全戸断水
- ・ 宇美川堤防決壊 8ヶ所
- ・ 田畑冠水 約150ヘクタール

#### 昭和49年（1974）

- ▼ 志免中央小学校、志免西小学校創立100周年

- ▼ 志免東小学校が開校

#### 昭和50年（1975）

- ▼ 志免東保育園が開園
- ▼ 七夕池古墳が国指定史跡に指定

#### 昭和51年（1976）

- ▼ 桜丘共同利用施設が完成
- ▼ 総合スポーツ公園野球場が完成
- ▼ 上水道給水規制が開始

#### 昭和52年（1977）

- ▼ 北本町文化センターが完成
- ▼ 志免町武道館が完成
- ▼ 志免南小学校が開校
- ▼ 望山荘（老人福祉センター）が完成
- ▼ 総合スポーツ公園テニスコートが完成
- ▼ 町の人口が3万人を突破

#### 昭和53年（1978）

- ▼ 西地区社会体育館が完成
- ▼ メインパークが開園
- ▼ 志免商店街協同組合が設立

#### 昭和54年（1979）

- ▼ 志免町町章を制定
- ▼ 別府保育園が開園
- ▼ 町民センターが完成
- ▼ 6月30日に集中豪雨





**さようなら勝田線 昭和60年3月**

吉塚駅と筑前勝田駅を結んでいた勝田線。もともとは石炭のほか、菅崎宮・宇美八幡宮への参拝者を運ぶ「参宮線」と呼ばれていました。廃線前、町内には御手洗・上亀山・志免駅がありましたが、1985年に全線が廃止されました。現在は緑道として公園整備され、志免駅の跡地には志免鉄道公園が作られています。



**志免町文化祭**

毎年11月に行われています。昔は、中の坪公園で「曲水の宴」が行われていました。現在では、芸能発表や展示会が行われています。



**志免町盆踊り大会**

昭和45年～平成20年まで夏祭りが行われていました。当初は婦人会と青年団により「盆踊り大会」が開催されていましたが、平成14年からは「納涼夏まつり」に変わりました。



昭和60年からは、これまでの志免町の歴史をまとめるため、『志免町誌』編さんを始めました。町制50周年・村制100周年の節目となる平成元年に発刊しました。

また、昭和54年には町民センターで「第1回志免町文化祭」を、昭和57年には「第1回祭りしめ」を開催するなど、住民の文化振興を促す催しが始まりました。

昭和50年代以降も人口の増加は続き宅地造成が行われ、桜丘・石橋台などの住宅地が完成しました。そのような背景のなか、町では多くの町民の方に暮らしを充実してもらえよう、生活環境を整えていきます。総合スポーツ公園野球場・テニスコート・武道館・望山荘（平成30年閉館）、メインパーク（現 中の坪公園）・町民センターなど、現在も活用されている施設が続々と誕生しました。

に改称しています。

・床上浸水 80世帯  
▼社会福祉法人志免町社会福祉協議会が発足

▼東地区社会体育館が完成

▼第1回志免町文化祭を町民センターで開催

**昭和55年（1980）**

▼志免東中学校が開校

▼8月30日、集中豪雨

・床上浸水 67世帯

**昭和56年（1981）**

▼「志免町総合計画策定基本構想・基本計画」の策定

**昭和57年（1982）**

▼役場新庁舎が完成（現庁舎）

▼第1回祭りしめが開催

**昭和58年（1983）**

▼志免町行政区再編審議会が発足

▼志免南保育園が開園

**昭和60年（1985）**

▼国鉄勝田線が廃止

▼志免町行政改革推進委員会を設置

▼志免町文化協会が発足

**昭和61年（1986）**

▼志免町防災行政無線局が開局

▼旧志免鉱業所第五坑ボクサ山を志免・須恵・粕屋の3町で取得する

▼青春講座が始まる

**昭和62年（1987）**

▼鉄道公園が完成

▼志免中学校男子体操部が全国中学校体操競技選手権に出場

▼志免東公園が完成

▼町民体育館が完成

▼町民体育館が完成

**昭和63年（1988）**

▼町民体育館が完成



**1万1千人クリーンアップ作戦を実施** 平成元年・2年7月  
とびうめ国体の相撲競技の会場となった町では、町内会連合会の主催で各世帯から1名が参加することを目標に、1万1千人クリーンアップ作戦が開催前年と開催年の7月に一斉に行われました。その時集められたゴミの量はトラック20台分にもなりました。



**町制施行50周年・村制施行100周年記念式典を挙**  
平成元年11月

11月3日に志免町立町民センターで、志免町制施行50周年・村制施行100周年を祝う記念式典が厳粛に執り行われました。来賓の奥田八二福岡県知事をはじめ、多くの招待者が出席し、式典では南里久雄町長が式辞を述べました。



**片峰新橋の完成** 平成元年3月  
(P58 MAP : ⑩)

とびうめ国体の開催を記念して、土俵の「たわら」をモチーフにした飾りが橋につけられました。

# 1989→1993

(平成元年～平成5年)

## 平成の幕開け

昭和という時代は、天皇の崩御とともに終わりを告げました。1月7日、元号法に基づいて改元の政令が出され、翌日を「平成元年1月8日」とし、平成時代が幕を開けます。

町では、平成に入ってから様々なイベントが開催されます。その最初の催しとして、平成元年11月に町制施行50周年・村制施行100周年を祝う記念式典が挙行されました。

平成2年10月には、日本最大の国民スポーツの祭典である「第45回国民体育大会（とびうめ国体）」が福岡県で開催され、町は相撲競技の会場となりました。開会前には国体炬火リレーが町内を走り抜け、ルートになった県道68号には多くの観客が集まり、声援を送りました。相撲競技の大会には全国47都道府県の代表選手が一堂に会し、熱戦が繰り広げられました。

平成3年3月、福岡市で開催された「アジア太平洋子ども会議」を契機として、町にも「志免町国際交流町民会議」が発足します。その活動は中国・モンゴル・ニューカレドニアの子ども大使が、町の個人住宅にホームステイするなど、地域に根ざした交流が続けられました。

また、福岡都市圏のベッドタウン化

## 志免町年表 平成元年～平成5年

### 平成元年(1989)

- ▼福岡県消防相互応援協定書を締結
- ▼上水道給水規制を一部緩和
- ▼土生山浄水場と御笠川取水施設改修工事が完成
- ▼志免町1万1千人クリーンアップ作戦を実施

### 『志免町誌』が完成

- ▼町制施行50周年・村制施行100周年記念式典を挙行

### 志免町役場機構改革が始まる

### 平成2年(1990)

- ▼志免町役場で第2・第4土曜日の「土曜開庁」を実施
- ▼志免中学校ソフトボールクラブが全日本中学校選抜選手権大会に出場

- ▼アジア太平洋子ども会議で志免町に8人がホームステイ
- ▼とびうめ国体相撲競技が志免町で開催される

- ▼「席田浦田線(ユニバ通り)」「坂瀬片峰線」が開通

### 平成3年(1991)

- ▼志免町国際交流町民会議が発足
- ▼下水道供用開始に向け下水道課を新設
- ▼「志免町民ふれあいセンター(保健センター・社会福祉センター・図書館)」が開館
- ▼中国・モンゴルの子ども大使14人が志免町にホームステイ

- ▼志免東中学校ブラスバンド部が九州吹奏楽



**「志免町民ふれあいセンター」が開館 平成3年4月**  
(P58 MAP: ⑦)

保健センター・社会福祉センター・図書館の3つの機能を持った複合施設「志免町民ふれあいセンター」が開館しました。町民の健康増進及び生活と文化の向上を目指した施設となっています。



**糟屋郡で唯一残っていた映画館「志免映劇」の閉館 平成5年1月**

昭和59年に開館し、糟屋郡で唯一残っていた映画館として多くの映画ファンに愛された南里の「志免映劇」が1月15日を最後に閉館しました。閉館後の2日間が「さようなら映画会」として無料開放されました。



**志免平成の森公園が開園 平成5年4月**  
(P58 MAP: ⑫)

蜜が飛び交う小川やバーベキュー場やローラースライダーなどがある「平成の森公園」が開園しました。また、公園内には松ノ尾古墳群や観応三年銘梵字石碑があり、自然と歴史、遊びを楽しむことができます。



**国体炬火リレー 町内を走る 平成2年10月**

「とびうめ国体炬火リレー」の「心にときめく霊峰の火」は、求善堤山(豊前市)と英彦山(添田町)で採火され、県民の手によってリレーされました。10月19日に中継地の宇美町から志免町役場～飯屋～亀山を経て、20日に福岡市へと引き継がれました。炬火ランナーは町内の小中学校から選ばれました。



**とびうめ国体の相撲競技が志免町で開催される 平成2年10月**

平成2年に福岡県で開かれた「とびうめ国体」は、県内で38の競技が実施されました。志免町は相撲競技の会場となり、少年男子・成年男子の個人戦・団体戦があり、本町からも早田祐治さんが福岡県代表として出場しました。

を背景に年々増加する人口に対して、町民の健康・文化を向上させ、環境にやさしい町を作る取組みが行われていきます。

その一つとして、平成3年4月に、町民待望の「志免町民ふれあいセンター」が開館しました。また、平成5年9月に「自治体環境宣言」がなされ、「空き缶ポイ捨て禁止条例(散乱防止再資源化促進条例)」を施行しました。

平成5年7月に奥尻島を中心に起きた北海道沖南西沖地震では、火災や津波で大きな被害(死者・行方不明者230人)が発生し、町では職員やPTAを中心とした救援募金活動が行われました。

このように、平成元年からの5年間は、大きなイベントが成功し町内を盛り上げただけでなく、交流・支援の輪が広がりました。

- ▼ コンクールで金賞を受賞
- ▼ 「水サミット(福岡都市圏)」を開催
- ▼ 志免中学校体操部軟式テニス部が全国中学校体育大会に出場
- ▼ 「第3次志免町総合計画」の策定
- 平成4年(1992)**
- ▼ 志免町体育協会創立20周年記念式典を開催
- ▼ 町の人口が3万5000人を突破
- ▼ 全ての土曜日の「土曜閉庁」を実施
- ▼ 志免町「健康・福祉・保健」大会を開催
- ▼ 亀山石棺の発掘調査
- ▼ 志免町歴史資料室が開室
- ▼ 志免南小学校が小学校吹奏楽コンクール九州大会で銅賞受賞
- 平成5年(1993)**
- ▼ 映画館「志免映劇」が閉館
- ▼ 「としよかんまつり」が始まる
- ▼ 志免平成の森公園が開園
- ▼ 全国老人保健福祉大会で志免町が保険事業推進功労厚生大臣表彰を受賞
- ▼ 志免町議会で「自治体環境宣言」を発表



**糟屋郡内で初のデイサービスを開始 平成6年7月**

デイサービス（通所介護）は、介護が必要な人が昼間に訪れて、日常生活における介護サービスやリハビリなどを受けるサービスです。町では望山荘（平成30年閉館）が糟屋郡で初めてサービスを始めました。



**松ヶ上遺跡で古墳時代中期の滑石製品  
工房跡を確認 平成6年4月**

松ヶ上遺跡の発掘調査（現在の「やすらぎの郷」）で弥生時代から中世にかけての集落跡や墓地などが発見されました。特に古墳時代中期の滑石製品工房跡は白玉製造を知る貴重な発見となりました。考古学ファンも集まっていた現地説明会が開かれました。



**志免町消防団出初式 平成7年1月**

志免町消防団出初式は、毎年1月に開催されています。法被姿の団員の観閲、小隊訓練が披露される勇壮な式典です。

# 1994→1998

（平成6年～平成10年）

## 増加する人口

平成6年からの5年間は、町内を含めて全国で、自然災害に悩まされることになりました。

平成6年は、昭和56年に起きた渇水よりも深刻な大渇水に見舞われました。町では渇水対策本部を設置し、給水制限や給水車の出動などを行いました。平成7年1月17日には、神戸市から淡路島北部の一角が震度7の激しい揺れに襲われた「阪神淡路大震災」が起こり、各所で甚大な被害が発生します。全国から多くの支援が集まるなか、町でも同年1月から義援金の呼びかけを行いました。その他に、職員を派遣し、復興の支援を行いました。

人口の増加に伴って、町は様々な課題に直面するようになり、インフラの整備だけでなく、町民生活の質を向上させる施設等の整備が急務となります。

町が最初に進めたのは、公共の下水処理施設の建設です。昭和60年ごろより、志免町・宇美町・篠栗町・須恵町・久山町・粕屋町の6町によって、多々良川流域で下水道事業が開始され、平成6年に下水処理施設「多々良川浄化センター」が竣工します。その結果、町では順次、下水道の供用が開始されていきました。

## 志免町年表 平成6年～平成10年

### 平成6年（1994）

- ▼粕屋警察署が東警察署から分かれて粕屋町大隈に開設
- ▼「志免町老人福祉計画」の策定
- ▼松ヶ上遺跡の発掘調査
- ▼歩こうレクリエーション大会が開催され、町民400人が参加
- ▼糟屋郡内では初のデイサービスが開始
- ▼平成6年渇水による志免町渇水対策本部を設置

### 平成7年（1995）

- ▼志免南小学校吹奏楽部が九州大会で銅賞
- ▼ボイスリーグ「志免ライオンズ」が日本一に
- ▼下水道処理施設「多々良川浄化センター」が竣工し、公共下水道を一部供用開始
- ▼阪神淡路大震災の義援金呼びかけ
- ▼阪神淡路大震災の被災地へ町職員を派遣
- ▼1日40トンのごみ排出に処理能力が限界に
- ▼ふれあいセンターで草の根国際交流を開催
- ▼「志免町政治倫理条例」の制定
- ▼志免南小学校、志免東中学校吹奏楽部が九州大会に出場

### 平成8年（1996）

- ▼第1回糟屋郡芸術・文化のつどいが開催
- ▼志免町ごみ減量対策町民会議を設置
- ▼「節水」ごみ減量「推進の町を宣言
- ▼福岡都市圏老人福祉施設「やすらぎの郷」



**老人福祉施設「やすらぎの郷」開設** 平成8年6月  
(P58 MAP : ⑩)

福岡市と広域都市圏22市町村の共同で志免町吉原に老人福祉施設「やすらぎの郷」が開設されました。同所は介護保険法に基づく指定施設として特別養護老人ホームやショートステイ・デイサービス・居宅介護支援などのサービスが行われています。



**阪神淡路大震災の義援金の呼びかけ** 平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災は世界中に衝撃を与えました。町では1月末に商店街等で募金活動が行われたほか、志免東小学校PTAはいち早く救済物資を呼びかけて、ダンボール箱80個分の物資を被災地に搬送しています。



**「生涯学習1号館」が開館**  
平成10年7月

生涯学習の拠点となる「生涯学習1号館」が開館しました。1階には138人を収容可能な小ホール、2階は研修室、3階はマルチメディア室などがあります。小ホールでは講演会や発表会・ミニコンサートなどが開かれています。



**第1回糟屋郡芸術・文化のつどい** 平成9年2月  
糟屋郡文化協会連合会主催により、「第1回糟屋郡芸術・文化のつどい」が開催されました。郡内の文化協会から37のサークル、約300名が出演し、舞台上で「舞踊」や「博多にわか」が披露されました。



**志免南小学校・志免東中学校吹奏楽部が金賞** 平成10年8月

福岡県吹奏楽連盟主催の「第14回福岡県吹奏楽コンクール」で、志免南小学校吹奏楽部と志免東中学校吹奏楽部が各小・中学校部門で金賞というダブル受賞を果たしました。両校は九州大会に出場しました。

次に取り組んだことは、ごみ処理です。平成7年に、町では急増する人口に対してごみの処理能力が限界に達し、町を挙げて、ごみの減量対策に取り組みます。そして、平成8年に「節水」「ごみ減量」推進の町を宣言します。「分別収集」や「環境フェア」「ごみ減量対策町民会議」を行い、平成9年1月にごみ焼却場の補修が完了します。

また、生涯学習や町内の文化活動の幅が広がっていく時代でもありません。平成8年には「第1回糟屋郡芸術・文化のつどい」が開催され、町外にも文化交流の輪が広がりました。平成10年7月には「生涯学習1号館」が開館し、「いつでも・どこでも・だれでも」学べる「生涯学習社会」に向けての取組みが始まりました。

このように、人口増加に伴う課題に直面しますが、インフラの充実や町民の生活が豊かになっていく体制づくりを行い、町民が活動できる機会が増えていきました。

- に、在宅介護支援センターが開設
- ▼10月から不燃ごみが4分別収集になる
- ▼町民センターで志免町環境フェアを開催
- 平成9年(1997)**
- ▼志免町文化協会創立10周年記念式典が開催
- ▼志免南吹奏楽部が九州大会に出場
- ▼ごみ焼却場補修工事の完了 3月から稼働再開
- ▼志免中学校創立50周年式典の開催
- 平成10年(1998)**
- ▼町が運営主体の学童保育を開始
- ▼粗大ゴミの収集が有料化
- ▼「生涯学習1号館」が開館
- ▼志免南小学校・志免東中学校吹奏楽部が九州大会に出場
- ▼粕屋南部消防組合に化学ポンプ車を配備
- ▼志免町文化祭20回記念大会を開催



**元町長南里久雄氏が  
志免町名誉町民に** 平成11年11月  
元町長南里久雄氏が町で初めて志免町  
名誉町民章が贈られました。昭和50年  
に町長初当選以来、平成11年4月までの  
6期24年間の長きにわたり町長を務め、  
町の発展や福祉の増進、文化の向上に  
貢献されました。平成29年3月3日、96  
歳で逝去されました。



**糟屋地区体育大会で個人、団体17部門で優勝**  
平成11年8月

「第48回糟屋地区体育大会」に町から447人の選手が参加し、団体・個人の7競技17部門で優勝するなど好成績を収めました。同大会は歴史ある大会で、糟屋地区（古賀市含む）内で会場を持ち回りし、選抜選手が各競技で実力を競っています。



**町議会議場で「中学生議会」を初めて開催**  
平成12年8月

町では初めてとなる「中学生議会」が町議会議場で開催されました。1日議員となったのは志免中学校、志免東中学校の生徒24人です。中学生から質問がされ、環境や福祉に関する質問には、町の将来を良くしようという思いが伝わってきました。

# 1999→2003

(平成11年～平成15年)

## 新しい町づくり

平成11年からは、町民が暮らしやすい環境の整備や制度が確立していきます。まず行われたことは、「住居表示」の実施です。人口増加に伴って市街化が進んでいる地域と旧市街地が混在し、住所だけで目的の場所を探ることが困難となりました。住居表示の開始によって、このような状況を解消していきましました。

また、少子高齢化社会や町の人口増加に対する取組みが始まります。その1つとして、社会が高齢化することに対応して、平成12年4月から介護保険制度が開始されます。さらに、公共施設のバリアフリー化に取り組み、車いすが利用できるように段差の解消などの改良工事が役場庁舎や町民センターで行われました。その後も、利用者が安全で快適に利用できるように、公共施設の整備がなされました。

平成13年4月には、「宇美町・志免町衛生施設組合」による「宇美志免浄化センター」が吉原地区に完成し、稼働を開始しました。これにより、し尿・浄化槽汚泥を併せて1日70キロリットルが処理可能となりました。

さらに、町は電子情報技術（IT）による情報共有・情報公開の促進に取り組みました。平成14年には電子自治体化への取組みとして、役場庁

## 志免町年表 平成11年～平成15年

### 平成11年(1999)

- ▼ 最高裁判所が「給水契約上の地位確認等」において、適法性を認める
- ▼ 家庭の生ゴミ処理機購入に補助金を助成
- ▼ 地域振興券の交付
- ▼ 不燃物埋立跡地の環境保全対策工事竣工
- ▼ 戸籍の電算化が始まる
- ▼ 志免町障害者プランを策定
- ▼ 第48回糟屋地区体育大会において、個人・団体17部門で優勝
- ▼ 志免東中学校吹奏楽部が全国大会に出場
- ▼ 志免町更生保護婦人会の発足
- ▼ 基幹型在宅介護支援センターを志免町社会福祉協議会内に開設
- ▼ 元町長南里久雄さんが志免町名誉町民に
- ▼ 住居表示変更実施。以降、平成22年度(第12次)まで実施

### 平成12年(2000)

- ▼ 「志免町高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」の策定が始まる
- ▼ 志免鉱業所遺跡の発掘調査
- ▼ 町議会議場で初めて「中学生議会」を開催
- ▼ 障害児通園事業を開始

### 平成13年(2001)

- ▼ 「子育てサポートセンターしめ」を開所
- ▼ 志免西学童専用施設を建設。以後各小学校に建設される
- ▼ 「第4次志免町総合計画」の策定
- ▼ 「志免町児童育成計画」の策定
- ▼ 「宇美志免浄化センター」が完成し、し尿処理開始
- ▼ 給水規制を条例改正により解除
- ▼ 桜丘中央アンビュバス広場の開設



**「コスモス100万本インしめ」の開催 平成14年11月**

花の町づくりを目指して、吉原・迎田地区の休耕地を活用した「コスモス100万本インしめ」を開催しました。現在も志免南小学校・志免東小学校の児童によって種まきが行われています。



**平成15年7月梅雨前線豪雨 家屋449戸が浸水 平成15年7月**

7月19日未明、九州北部を中心に梅雨前線の活動が活発となり、町では災害対策本部を設置し、対応に当たりました。水田に土砂が流入するなど甚大な被害を及ぼしました。



**「宇美志免浄化センター」が完成 平成13年3月**

宇美町と共同での処理施設整備に関する協議を開始し、平成10年に両町による「宇美町・志免町衛生施設組合」が設立されました。その後は志免町吉原に、し尿処理施設が建設され、平成13年4月に「宇美志免浄化センター」が本格稼働を開始しました。



**花火大会が終了 平成14年8月**

昭和62年より行われていた花火大会が、平成14年から納涼夏まつり実行委員会により開催されるようになります。平成15年にも開催予定でしたが、平成15年7月の豪雨により中止となり、この花火大会が最後となりました。

舎と小中学校・町民センターなどの公共施設を光ファイバーによるネットワークで結ぶ「志免町地域イントラネット基盤整備事業」が完了し、行政の電子化が進められました。申請・届出等の電子化やペーパーレス化もその一つです。志免町ホームページが開設され、町の概要を広く紹介するほか、行政の最新情報をはじめ、行政手続きや住民生活に関する様々な情報を提供できるようになりました。

こうしたITの効率化が進められているなか、国では、平成11年に「男女共同参画基本法」が施行され、男女が平等に働くことができる社会を目指すこととなりました。それに連動し、町でも同年8月に「志免町男女共同参画審議会」が発足し、男女が性別に関わりなく自分らしさを大切にしていきたいと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指しました。基本計画や行動計画策定に向けた取り組みが行われています。

また、教育の面でも新しい制度が導入されます。授業の時間を確保し、きめ細かな指導を行うことを目的に、平成15年4月、志免西小学校が町のモデル校として「二学期制」を導入し、県下から注目を集めました。

この5年間は、町民が暮らしやすくするための制度の効率化がはかられた時代でした。

- ▼第50回糟屋地区体育大会が開催
- ▼粕屋南郵便局が開局
- ▼役場庁舎・町民センターのバリアフリー工事が完了

**平成14年(2002)**

- ▼志免町体育協会が創立30周年記念式典を開催
- ▼昭和20年に結成された志免町婦人会が解散
- ▼志免町地域イントラネット基盤事業の完了
- ▼志免町ホームページを開設
- ▼志免西小学校給食棟の完成
- ▼昭和62年から夏まつりと合わせて行われていた花火大会が終了
- ▼通学合宿の開催
- ▼「コスモス100万本インしめ」の開催
- ▼志免町消防団第5分団格納庫が完成
- ▼志免町ごみ焼却炉の廃止

**平成15年(2003)**

- ▼「志免町情報公開条例」施行
- ▼「クリーンパークわかすぎ」が完成
- ▼「志免町高齢者保健福祉計画(第2期)」の策定
- ▼志免中・志免東中に給食棟が完成
- ▼志免西小学校がモデル校として「二学期制」を導入
- ▼7月19日、平成15年7月梅雨前線豪雨
  - ・床上浸水190世帯
  - ・床下浸水259世帯
- ・堤防決壊1ヶ所、損壊20ヶ所
- ▼志免町・宇美町・須恵町合併問題任意協議会の設置
- ▼粕屋警察署亀山交番が廃止
- ▼志免町消防団第7分団格納庫が完成



県道東環状線（新屋敷南交差点—貝田交差点）が開通  
平成16年5月

県道東環状線（新屋敷南交差点—貝田交差点）が開通しました。  
これにより、県道68号の渋滞緩和へとつながりました。



志免町総合福祉施設「シーメイト」が開館 平成16年4月  
(P58 MAP : 14)

福祉活動の拠点となる志免町総合福祉施設「シーメイト」が開館しました。高齢者や障害者のサポートや子育て交流を支援することのできる施設になっています。



旧し尿・ゴミ焼却施設の解体撤去が完了  
平成16年10月

旧し尿処理施設（昭和40年稼働）、旧ごみ焼却施設（昭和45年稼働）が無事にその役目を終えて解体・撤去されました。現在は、「宇美志免浄化センター」「クリーンパークわかすぎ」にその役目は受け継がれています。

# 2004→2008

(平成16年～平成20年)

## 平成の大合併

平成15年から20年にかけて、今後の町のあり方を、大きく左右する動きがありました。明治期以降、3度目の町村合併となる「平成の大合併」は、「新合併特例法」に基づき、平成11年から平成22年まで実施されました。これにより全国の市町村数は半数近い数となり、福岡県では97あった自治体（24市65町8村）は、平成30年末の時点で60（29市29町2村）となりました。

県内のごうした動きを背景に、糟屋郡では、平成15年に「志免町・宇美町・須恵町合併問題任意協議会」を発足し、度重なる協議が行われました。志免・宇美・須恵の3町での法廷合併協議会へ移行するかについて検討を続けましたが、合意形成には至りませんでした。

しかし、平成18年になって、糟屋郡は再び合併に向けて動き始めます。同年10月に古賀市と新宮町を除いた糟屋中南部6町による「糟屋6町合併研究会」が設置され、新合併特例法の期限内（平成22年3月）の実現を目指すことが確認されました。その後は、「糟屋6町合併協議設立準備会」を経て、法定協議会設置の関連議案採決が行われました。その結果は、志免町・宇美町・須恵町・篠栗

## 志免町年表 平成16年～平成20年

### 平成16年(2004)

- ▼町の人口が4万人を突破
- ▼志免西小学校の新校舎が完成
- ▼今後5ヶ年の宇美川改修計画が決定
- ▼「志免町男女共同参画行動計画」の策定が始まる
- ▼「志免・宇美・須恵町合併問題任意協議会」が法定協議会の設置議案の提出断念し、解散
- ▼旧志免町し尿処理施設解体
- ▼志免町シルバー人材センターの開設
- ▼「志免町個人情報保護条例」施行
- ▼志免町総合福祉施設「シーメイト」が開館
- ▼県道福岡東環状線が開通

### 平成17年(2005)

- ▼災害時における県内市町村間の相互応援に関する基本協定の締結
- ▼「志免町子ども読書推進計画」「志免町子ども未来プラン（次世代育成支援行動計画）」の策定が始まる
- ▼3月20日、福岡県西方沖地震発生  
志免町は震度5弱を観測
- ▼住宅一部損壊 55件
- ▼ブロック塀倒壊 8ヶ所
- ▼負傷者 軽傷13人、重傷1人

### 平成18年(2006)

- ▼「志免町行政改革実行計画」の策定
- ▼志免町障害児支援施設「げんきはうす」の開所
- ▼犯罪防止のための「見守り隊」立ち上げ
- ▼粕屋南部消防本部新庁舎が完成（志免・宇美・須恵管轄）
- ▼桜丘浄水場を廃止
- ▼志免町が全国町村会から「優良町村」を受表彰





### 健康づくり推進の「志免町元気体操」作成

平成18年10月

誰もが親しみのある名曲「上を向いて歩こう」の音楽にのせて無理なく全身を動かし、筋トレやストレッチ・バランス運動と総合的な運動ができる健康体操です。PRビデオの制作も行われました。



### 粕屋南部消防本部 新庁舎が完成 平成17年10月

(P58 MAP : ⑱)

粕屋南部消防本部の新庁舎が田富に完成しました。新庁舎は鉄筋コンクリート造の4階建てで、訓練塔などが設置されています。あわせて災害状況等案内装置、消防緊急通信を備えた指令装置(Ⅱ型)の運用も開始されました。

### 九州初の全国自治体シンポジウム2006を開催

平成18年10月

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2006が町民センターで開催されました。九州で初めて志免町が本部となり、開催されました。会場には、子ども施策などに関わる全国の自治体職員や研究者、住民など約430人が参加しました。



町は可決しましたが、久山町と粕屋町が否決となりました。これを受けて、糟屋6町合併研究会は合併推進を断念し、解散しました。こうして、2度にわたって合併に関する協議検討が行われたものの、平成20年3月に町の合併協議は最終し、合併には至りませんでした。

こうした動きがあるなか、町では福祉施設の充実がはかられます。その活動の拠点となる、総合福祉施設「シームイト」が平成16年に完成しました。開館を記念して開催された「シームイトオープンまつり」には、2日間で約1万人が来場しました。

そのほか、平成15年から各地で続く大きな地震に、この地域も見舞われることとなります。平成17年3月に発生した「福岡県西方沖地震」は、県内各地に被害を与えます。特に福岡市西区玄海島の被災状況は酷く、家屋の全壊33棟、334人の島民が一時避難、仮設住宅の生活を強いられました。町でも震度5弱を観測しており、負傷者13人、住宅被害55件の被害が出ています。この地震により、地震に対する備えも必要であるということが再認識されました。

平成16年からの5年間は、町のこれからの大きく左右する「合併」という動きがあった時代でした。

- ▼ 志免町文化協会が創立20周年記念式典を開催
  - ▼ 災害時における事業所との応援協定の締結が始まる
  - ▼ 町内全ての小・中学校で二期制を開始
  - ▼ 基幹型在宅介護支援センターが廃止され、久山町に糟屋圏域を包括する地域包括支援センターを開設
  - ▼ 「志免町障がい福祉計画」を策定
  - ▼ 「志免町地域防災計画」の策定
  - ▼ 町で全国自治体シンポジウム2006「地方自治と子ども施策」が開催
  - ▼ 「志免町元気体操」を作成
- 平成19年(2007)**
- ▼ 糟屋6町合併協議会設立準備会の発足
  - ▼ 志免町消防団第4分団格納庫が完成
  - ▼ 宇美町・粕屋町との町での証明書広域自動交付サービスの開始
  - ▼ 子どもの居場所「リリー乙」が開所
  - ▼ 「志免町子どもの権利条例」の施行
  - ▼ 旧志免鉱業所竪坑櫓が国の有形文化財に登録される
- 平成20年(2008)**
- ▼ 町立別府保育園を民営化し、別府つくし保育園となる
  - ▼ 町立町民図書館が文部科学大臣表彰を受賞
  - ▼ 御笠川・宇美川災害対策事業が完了
  - ▼ 昭和45年から婦人会と青年団により開催されていた盆踊り大会(のちに「納涼夏まつり」に名称変更)が終了
  - ▼ 適応指導教室「ぐんぐん」が開室
  - ▼ 志免西小学校が交通安全で文部科学大臣表彰を受賞
  - ▼ 昭和61年から続いた青春講座が解散



**「シーメイト」開館から100万人を突破 平成21年10月**  
平成16年の開館から「シーメイト」の利用者が10月29日で100万人を突破しました。100万人目の利用者は和室を利用した「はつらつ教室カラオケサークル」でした。



**3町による新業務システム事業が稼働 平成22年10月**

志免町・宇美町・須恵町の3町で「業務システム再構築事業に関する基本協定」を締結し、住民記録や税、福祉や水道といった基幹システム・財務会計・人事給与といった、内部情報システムを新業務システムに切り替え、稼働を開始しました。



**「宇美志免リサイクルセンターエコル」稼働 平成21年4月**

宇美町し尿焼却施設跡地に宇美町・志免町衛生施設組合が運営する「宇美志免リサイクルセンター エコル」が稼働しました。施設では資源・不燃物に加え、プラスチック製容器包装類の分別を行い、積極的な資源リサイクルをしています。

# 2009→2013

(平成21年～平成25年)

## 竪坑櫓の保存

平成21年からは町では、「旧志免鉱業所竪坑櫓」の保存を本格的に開始します。開坑から閉山まで一貫して国営であった国内唯一の炭鉱「志免鉱業所」の竪坑櫓は高さ47.65メートルの鉄筋コンクリート製の構造物です。第二次世界大戦終戦前に建設されたもので現存している同型の櫓は、世界で旧志免鉱業所と龍鳳炭鉱(中国・撫順市)、ブレニー炭鉱(ベルギー・リエージュ州)の3ヶ所だけの貴重な文化財です。

閉山後は取り壊しも検討されていましたが、平成18年には志免町の所有となり、その後は産業遺産としての価値が認められていきます。石炭産業発展の歩みを物語る「産業考古学推薦産業遺産」(産業考古学会)や、「地域活性化に役立つ近代産業遺産」(経済産業省)にも認定されました。そして、平成19年に国の登録有形文化財に登録された後、21年12月8日には国の重要文化財に指定され、町のシンボルとなっています。

そして、平成23年1月に「旧志免鉱業所竪坑櫓 重要文化財指定記念行事」をシーメイトホールで開催しました。平成23・24年度には、「旧志免鉱業所竪坑櫓保存活用計画書」を作成し、現在行われている修復工事を派遣する

## 志免町年表 平成21年～平成25年

### 平成21年(2009)

- ▼ 志免町・宇美町・須恵町の3町で「業務システム再構築事業に関する基本協定」を締結
- ▼ 「宇美志免リサイクルセンターエコル」が稼働
- ▼ 「志免町都市計画マスタープラン」の策定
- ▼ シーメイトに「志免町まちづくり支援室」を開設
- ▼ 7月24日、九州北部豪雨
  - ・ 床上浸水52世帯
  - ・ 床下浸水164世帯
  - ・ 冠水32ヶ所
  - ・ 土砂災害5ヶ所

### 平成22年(2010)

- ▼ 町村フェアに志免ブランド4商品を出品
- ▼ 志免町消防団第8分団格納庫が完成
- ▼ 旧志免鉱業所竪坑櫓が国の重要文化財に指定

### 平成23年(2011)

- ▼ 福岡都市圏では初となる「議会基本条例」を制定
- ▼ 志免町・宇美町・須恵町の3町で「新業務システム事業」を稼働
- ▼ 志免東中学校創立30周年記念式典を開催
- ▼ 志免東小学校が校区緊急災害システム設置
- ▼ 「議会報告会」を初めて開催
- ▼ 3月11日、日本観測史上最大の地震となる「東日本大震災」が発生
- ▼ 志免町救護本部の設置及び、復旧・復興のため粕屋南部消防組合が緊急消防援助隊を派遣する



**東日本大震災の犠牲者を追悼するつどいを開催 平成24年3月**

東日本大震災で犠牲となった方々のご冥福と被災地の早期復興を願って、志免町総合福祉施設「シーメイト」で「Team前向き」が主催となって「東日本大震災の犠牲者を追悼するつどい」を開催しました。会場には約1600本の灯籠が飾られ、800人を超える来場者が祈りを捧げました。



**「第50回 志免町民大運動会」が開催 平成25年10月**

昭和37年から始まった志免町民大運動会は、町民の融和と健康増進・スポーツ振興を目的とした公民館主催の行事でした。昭和44年に主催が志免町となり、第50回となる大会は、約5000人の町民が参加し、大いに盛り上がりました。



**町立志免保育園が閉園し、志免あおぞら保育園に 平成25年3月**

昭和39年に閉園した「志免町立志免保育園」が49年の歴史の幕を閉じました。閉園後は民営化され、4月1日「志免あおぞら保育園」に生まれ変わりました。

へとつながっていくのです。

この時代も、全国的に豪雨や地震の脅威にさらされる事態が続きます。平成21年の7月24日から26日にかけて、「九州北部豪雨」が発生しました。町でも家屋浸水や宇美川の堤防の決壊など多くの被害が発生しました。決壊した堤防は、職員や消防団員により応急的な処置を行い、復旧工事を行いました。

また、平成23年3月11日に「東日本大震災」が発生しました。町では志免町救護本部を設置し、被災地に職員を派遣しています。震災翌年には「シーメイト」で「Team前向き」が主催となり「東日本大震災の犠牲者を追悼するつどい」が開かれ、現在も続けられています。

「東日本大震災」以前より、町の小中学校の耐震化が進められていましたが、平成24年に「志免町耐震改修促進計画」が策定され、さらなる建物の安全性を確保する取組みが行われました。この震災によって建物の耐震性が改めて重要であると再認識させられました。

この5年間は、町のシンボルである堅坑槽の保存にむけての動きが始まるとともに、豪雨や震災への対策が急務となることが確認された年となりました。

▼「第5次志免町総合計画(前期基本計画)」の策定

▼志免町立町民図書館20周年「とよかんまつり」の開催

▼官民協働事業で「暮らしの便利帳」の発行

▼町の人口が4万5000人を突破

**平成24年(2012)**

▼志免町桜丘団地終末処理場を解体

▼自主防災組織を設立

▼志免町体育協会創立40周年式典を開催

▼シーメイトで「Team前向き」が「東日本大震災の犠牲者を追悼するつどい」を開催

▼防災マップ作成

▼「志免町みんなの参画条例」施行

▼地域包括センターが各所に移転され、地域型住宅介護支援センターを廃止

▼消滅しかけた「平成の森公園」のホテルを再生

▼志免町消費生活窓口を開設

▼協働事業提案制度・住民活動団体育成支援助成金の開始

▼「志免町耐震改修促進計画」の策定

▼ふるさとづくりの植樹活動として杉の苗1500本を篠栗で植樹

▼町税の納付がコンビニエンスストアでも可能に

**平成25年(2013)**

▼町立志免保育園が民営化し、志免あおぞら保育園となる

▼「第50回志免町民大運動会」の開催

▼糟屋中南部地域広域連携プロジェクト推進協議会が冊子「かすやのたからモノ」を発刊



### 中の坪公園のメタセコイアのイルミネーション

平成26年12月

(P58 MAP : ⑨)

「希望の光」を未来へつなげたいという思いを込めて、中の坪公園のシンボルツリーとなっているメタセコイアの木に約2万個のLEDをつけ、イルミネーションをしています。この「ともにとそうプロジェクト」では、「飛龍太鼓」による和太鼓の演奏なども行われています。



### 福祉巡回バスがリニューアル 平成26年3月

町内の主要な公共施設などを結ぶ福祉巡回バス「さくら号」「ひまわり号」がそれぞれの花をイメージした車体にリニューアルされました。同年9月には「コスモス号」もリニューアルされ、さくら号・ひまわり号・コスモス号の3台が町内を6コースに分け、1日4回を巡回しています。

# 2014→2019

(平成26年～平成31年)

## 災害につよい町へ

町では、町内を含め様々な災害に見舞われていることを受けて、平成18年8月に策定された「志免町地域防災計画」を平成26年12月に見直ししました。計画では災害の予防、応急対策、復旧対策などが盛り込まれています。また、「防災ハザードマップ」を町ホームページで公開し、「洪水」「高潮」「揺れやすさ」の各災害別に確認できるようにしています。

また、「災害につよい町づくり」に向けて取り組んできた小中学校の耐震工事・校舎増築・大規模改造は、平成28年度に完了しました。

そのようななか、平成28年4月14日・16日に「平成28年熊本地震」が発生しました。熊本県で震度7を記録した九州地方では観測史上最大の地震となりました。町では被災地行政機能回復支援として、熊本県嘉島町に職員を派遣し、復旧作業にあたりました。また、平成29年7月には九州北部で豪雨が 발생し、朝倉市と東峰村に大きな被害が発生しました。その際も、町から東峰村に職員を派遣しました。

平成27年からは、町がさらに活気づくイベントが始まりました。「タテコウヤグラライブ」・「ともにとそうプロジェクト」・「アビスパ応援デー」・「志免マルシェ」が始まり、町民と町

## 志免町年表 平成26年～平成31年

### 平成26年(2014)

- ▼ 志免町と町社会福祉協議会で災害ボランティアセンターの設置・管理に関する協定を締結
- ▼ 志免町防災備蓄倉庫が完成
- ▼ 志免町消防団第6分団格納庫が完成
- ▼ 志免町健康増進計画「健康しめ21」の策定
- ▼ 「志免町男女共同参画推進条例」施行
- ▼ 中の坪公園の機関車が大分県玖珠町に無償譲渡され、公園が改修される
- ▼ ともにとそうプロジェクトが始まる

### 平成27年(2015)

- ▼ 志免町地域安全安心センターが完成
- ▼ 「志免町子ども未来プラン(子ども・子育て支援事業計画)」の策定
- ▼ 水車橋公園が開園
- ▼ マイナンバー制度の開始
- ▼ 志免町子育て支援センターを開設
- ▼ 志免町が県交通安全県民大会で優秀賞受賞

### 平成28年(2016)

- ▼ 志免町文化協会が30周年記念式典を開催
- ▼ 「志免町人口ビジョン」「志免町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定
- ▼ 「第5次志免町総合計画後期基本計画」の策定
- ▼ 「志免町教育振興基本計画」の策定
- ▼ 熊本地震の被災地に町職員を派遣
- ▼ 町立町民図書館25周年「とよかんまつり」の開催
- ▼ 福岡県消防操法大会で志免消防団第4分団が優勝
- ▼ アビスパ福岡公式戦「志免町応援デー」の開催



### 県消防操法大会で志免町消防団第4分団が初優勝 平成28年9月

志免町消防団第4分団が、第24回福岡県消防操法大会で、自動車ポンプの部に出場し、見事に優勝しました。県大会優勝は初めての快挙です。



「志免町地域安全安心センター」が完成 平成27年3月  
中の坪公園の隣接地に町の安全・安心を守る拠点として「志免町地域安全安心センター」が完成しました。モダンな外観のこの建物は1階が交番、2階にはかすや中南部広域消費生活センターが設置されています。

### アビスパ福岡と「フレンドリータウン協定」を締結 平成29年4月

地域活性化とスポーツ文化の振興を目的に、町は、アビスパ福岡と「フレンドリータウン協定」を締結しました。アビスパ福岡公式戦で「志免町応援デー」を開催し、互いの応援と交流を深めています。



### 旧志免鉱業所竪坑櫓の保存修理工事を開始 平成30年10月

(P58 MAP : ①)

旧志免鉱業所竪坑櫓の保存修理工事が始まりました。約4年間をかけてコンクリート剥離・欠損部分の補修・鉄筋の腐食部分の取替えなどを行います。

とが一体となって町を盛り上げる機会が増えています。

また、国の重要文化財である「旧志免鉱業所竪坑櫓」は、平成30年より保存修理工事が行われています。今後、町のシンボルとして次世代に受け継いでいきます。

昭和52年に開館し、町民に長い間親しまれていた「志免町高齢者福祉センター（望山荘）」が平成30年11月に閉館しました。平成31年3月には、新たに西南学院大学との「包括的連携協定」を結び、町づくりや教育・研究に関する連携を深めています。

町は、平成31年4月17日に、町制80周年を迎えました。平成元年からの30年間を振り返って、町は町民が安心して生活でき、その生活が豊かで実りあるものとなるよう取り組んできました。この80周年をきっかけとして、今後も志免町に住み続けたいと思える町づくりに励んでいきます。

▼志免町水道事業が創設50周年

#### 平成29年(2017)

- ▼平成19年度より始まった小中学校の耐震工事・校舎増築・大規模改造が完了
- ▼「志免町地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定
- ▼「志免町教育振興計画」の策定。以後、年度ごとに作成

▼アビスパ福岡と「フレンドリータウン協定」を締結

▼九州北部豪雨東峰村へ職員を派遣

▼志免町下水道事業創設30周年

▼粕屋南部消防組合中部消防署西出張所ができる

▼宇美町・粕屋町との3町での証明書交付サービスが終了

#### 平成30年(2018)

▼マイナンバーカードによるコンビニエンスストアでの住民票や税証明の交付を開始

▼志免町消防団第9分団格納庫が完成

▼一部の税金と料金のモバイルレジ納付を開始

▼亀山保育園が民営化し、「かめやま保育園」となる

▼子育て世代包括支援センター「さくらの木」を開設

▼望山荘が閉館

▼旧志免鉱業所竪坑櫓の保存修理工事を開始

#### 平成31年(2019)

▼防災ハザードマップを作成

▼西南学院大学と「包括的連携協定」を締結

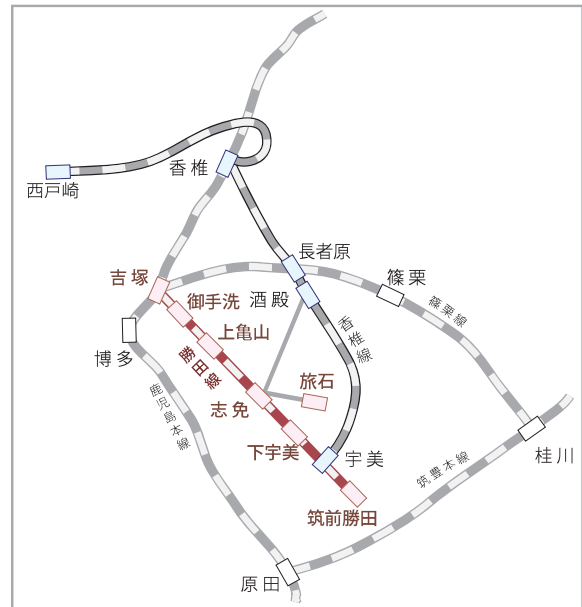
▼「志免町体育協会」が「志免町スポーツ協会」と改称

▼4月17日、町制80周年を迎える

## [鉄道と緑道]



香椎引込線と蒸気機関車



勝田線と香椎線(引込線)

現在の志免町での公共交通機関はバスが中心ですが、昔は鉄道が走っていました。

志免町の発展には、明治 38 年に開設した「博多湾鉄道」（現在の香椎線：宇美—西戸崎間）と、大正 8 年に開設された「筑前参宮鉄道」（のち勝田線：昭和 60 年廃止）が大きな役割を果たしてきました。

### (博多湾鉄道)

粕屋炭田の石炭を積出港へ輸送することを目的に開設されました。明治 39 年に、志免炭業所に第五坑が開かれたことをきっかけに、明治 42 年に酒殿（粕屋町）—志免間の 1.7km の志免引込線が敷設され、貨物支線の駅として「志免駅」ができました。大正 2 年に旅石（須恵町）に第六坑が開坑すると、2 年後に志免駅から 1.4km の延長線を敷設しています。この支線は大正町を横切っており、見通しの悪い場所を通過していたため「魔の踏切」と恐れられていた場所もあったそうです。

### (筑前参宮鉄道)

勝田炭田の石炭輸送と、筥崎宮（福岡市東区）・宇美八幡宮（宇美町）への参拝客の輸送を目的に開設されました。吉塚駅を起点として、上亀山駅—新志免駅（のちに志免駅と統合）—新宇美駅—筑前勝田（御手洗駅は昭和 16 年に開業）に至る約 12.8km の路線で、計画の段階では太宰府天満宮に至る延長線も計画されていました。

昭和 17 年に博多湾鉄道と筑前参宮鉄道は九州電気軌道と合併し、西日本鉄道（現：西日本鉄道株式会社）になりますが、昭和 19 年には戦時買収により国鉄に移管されます。吉塚—筑前勝田間は国鉄勝田線に、西戸崎—宇美間は国鉄香椎線と改められました。

勝田線は、戦後は主に旅客輸送をしましたが、炭田の閉山とともに利用者が減少し、昭和 56 年には国鉄が「特定地方交通線」（赤字路線）に指定されます。これを受けて、県や志免町を含めた関係 6 市町による「ローカル線廃止反対に関する要望書」を提出し、関係省庁への陳情を繰り返しました。しかし、昭和 60 年 3 月 31 日で 66 年の歴史に幕を下ろしました。

廃線後は、町が土地を買い取り、志免駅跡地が「志免鉄道記念公園」、上亀山駅は「上亀山駅跡公園」にした「緑道」が整備されます。この路線跡は宇美町まで伸び、日本有数の廃線跡を活用した遊歩道となっています。

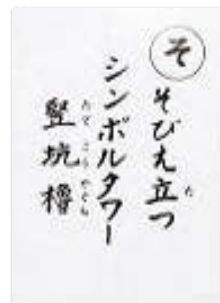
(P8 参照)

## [2つのかるた]

### 志免町炭鉱かるた



「志免町炭鉱かるた」は、後世に旧志免鉱業所の歴史を伝えるために、「旧志免鉱業所の歴史を学ぶ会」と志免町との協働事業によって平成26年3月に生まれました。各小学校や地域の行事、高齢者のリハビリなどで活用されていて、毎年2月に開催される「志免町炭鉱かるた大会」には多くの人が参加しています。大会では読み札を暗記している人もいて、白熱した戦いが繰り広げられます。



### 子どもの権利かるた



「子どもの権利かるた」は、「志免町子どもの権利条例」を子どもたちがわかりやすく学べるように、平成29年2月に「NPO法人 スペース de GUN<sup>2</sup>」が作成しました。

取り札のイラストは、志免町の子どもたちが思い描く「笑顔」となっていて、やさしい言葉を使い、遊びながら学べるようになっています。小学校で行われるかるた大会では、上の学年の子が下の学年の子にルールを教えるなど、かるたを通しての輪も広がっていています。





# 志免町 あの日あのととき

町制 80 周年を迎えた今、志免町を良く知る 5 名の方に集まっていただき  
ふるさと「志免」について語っていただきました。

ご自身が子どもの頃の志免町はいかがでしたか？



**川崎 睦美さん**

前志免町文化協会会長  
昭和10年生(83歳)

**川崎** 私は小学校5年生から志免町で暮らしています。当時は国鉄勝田線が走っており、御手洗駅から福岡市内の学校へ通っていましたが、車窓からの風が涼しかったことを覚えていますが、自宅からの風景は、あたり一面が畑や田んぼで、カエルの鳴き声もよく聞こえてきました。そんな自然に恵まれた印象とともに記憶にあるのは、二又瀬の交差点から四軒屋までの県道がきれいに舗装されていたことです。その整備された立派な道路がとても印象的でした。

**伴** 私の記憶に残っているのは、炭鉱の閉山前の風景ですね。大正町商店街や銀座通り商店街が賑わっていたことを思い出します。当時は炭鉱で働く方々が輝いていたような気がします。

その志免炭鉱が昭和39年に閉山してしまいます。



勝田線の御手洗駅

**花岡** 当時私は志免炭鉱で働いていました。この年は東海道新幹線が東京〜大阪間で開業したり、東京オリンピックが開催されました。そのようななかでの閉山といふことで、時代の変化を感じていました。

**川崎** お昼も夜もないほど忙しい現場だったと聞いています。

**花岡** そうですね。3交代の24時間体制で操業されてきました。大変な現場でしたが、一つ間違えば人命に関わる仕事でしたので、集中して取り組んでいました。





ふれあいレクリエーション大会 (体育協会時代)



伴 義信さん

志免町商工会会長  
昭和21年生(72歳)

**高木** 昭和39年の閉山の時、私は小学校4年生でした。人口が少しずつ減っていき、寂しい雰囲気もありました。しかしその後、ボタ山が工業団地になって、その周りに新興住宅がどんどん完成していきました。昭

和45年以降に桜丘や向ヶ丘など、あつという間に住宅地になって、だんだんと人口が増え、活気がでてきたという印象です。

**伴** 閉山の頃から考えると、こんなに人口が増えて、よくここまで発展したなと思います。

**花岡** 福岡市に近いという立地条件が、志免町を活気づけた要因の一つでしょうが、ここまで人口が増えるとは想像していませんでした。

人口が増えて、新しい方々と地元の方々の交流はいかがでしょうか？

**高木** 町の各公民館での活動を中心に交流はかかれています。毎年10月の町民大運動会には30の町内会が一堂に会して、和気あいあいと競技している姿を見ると、もともと地元で暮らしていた方々と、新興住宅の方々の融合がともうまくいったのではないかと思います。公民館対抗のバレーボール大会や綱引き大会なども公民館が中心となって行ってきたことが成功の要因ではないでしょうか。

**宮野** 運動会ももちろんだけど、住民の皆さんが、いろいろなイベントに大勢が集まるという印象がありますね。昔は盆踊り大会や花火大会もありましたよね。最初は志免中央小学



祭りしめ

校のグラウンドだったけど、町民広場に場所を移して、屋台も出て、賑わっていましたね。婦人会もお手伝いをさせていたでいたので、よく覚えてます。

**花岡** 「祭りしめ」というのもありましたね。おみこしを出したり、みんなハッピを着たりしましたね。

**宮野** 婦人会では成人式でぜんざいを振る舞ったり、着付けをしてあげたりすることも楽しかったですね。

**伴** 今はご年配の方と若い方との交流も積極的になってきたように思います。商工会のイベントなどを通し

てそう感じています。

どのようなイベントを行っているのでしょうか？

**伴** 20年くらい前から「商工まつり」を行っています。6年ほど前に「しし〜麺グランプリ」も開催しました。志免町には飲食店が100軒程度ありますが、麺類を提供するお店が多数あり、その背景から麺類を主とした食のイベントを考案しました。その後、さらに多くの方に喜んでいただくために、麺類だけではなく他の食事もとれるように「しし〜麺vsしし〜1グランプリ」と名前を変え、様々なグルメを楽しめるイベントになっています。

**宮野** このイベントだと、若い方からご年配の方まで楽しめますね。

**伴** そうですね。遠方からもたくさん見られているようです。提供する側は、日頃の感謝の気持ちを含めて、イベントが成功するように心がけています。



花岡 幸弘さん

元写真店経営  
昭和13年生(81歳)



高木 幸政さん

志免町スポーツ協会会長  
昭和29年生(64歳)

**高木** スポーツのイベントでは、平成10年から「ふれあいレクリエーション大会」を開催しています。これは、競うことよりも、高齢者の方々に参加いただくことを目的に行っています。毎年300名ほど参加し、楽しんでいただいています。なかでも志免町特有のスポーツなのですが、ミニバレー（ビーチボールを使用したバレーボール）が人気です。スポーツ協会としては、今後も誰もが楽しめるものを取り入れていきたいと思っています。

**志免町で暮らした平成の30年間を振り返っていかがでしょうか？**

**高木** 平成2年に「とびうめ国体」が福岡県で開催されたわけですが、その際に志免町は相撲競技の会場になりました。町民体育館が会場となり、町民の方々も多く集まったことが印象的でした。また、その後町内の道路網の整備が進みました。特に立花

寺交差点（福岡市博多区）から志免町に伸びてくるバイパスが完成したことや、粕屋町に大型の商業施設が完成したことによって、町民の方々の生活環境が大きく変化したと思います。

**川崎** 生活環境の変化ではないのですが、人とのつながり、特に女性同士の距離感が昔よりも縮まってきている気がしています。何か接点があれば話しかけるように心がけていて、話しかけられた側も思いやりがある方が増えたのではないのでしょうか。

**宮野** そうですね。お互いを思い合う気持ちを持った方が増えたように思います。例えばボランテアにしても変化がありました。今までは組織的なボランテア活動が中心でしたが、今では「何かをやりたい」という気持ちのある人がボランテアを行うようになりましたよね。

**川崎** ボランテアの活動はとても重要ですよ。志免町は幸い、今まで大きな災害はなかったわけですが、これからはそれに備えることが大切になります。そういったことを私たちも、次の世代に伝承していきたいと思っています。

**花岡** 私は写真店を営んでいたわけですが、この30年で子どもたちを撮影する環境もずいぶん変わりました。撮影許可などがとても大切になって、

### とびうめ国体



常陸宮殿下、同妃殿下来庁



試合の様子



おもてなしをしていた婦人会のみなさん



開会式の選手入場



宮野 満津代さん

元志免町婦人会会長  
昭和10年生(83歳)

ただ撮影をするだけではない時代になってきました。ただ、志免の子どもたちの愛くるしい笑顔は昔も今も変わりませんね。この子たちの未来が、よい時代になればいいと思っています。また、「志免町にずっと住んでいたい！」と思われる町になればいいと思います。

**将来の志免町に期待するものはございますか？**

**川崎** 昭和の終わりに勝田線がなくなり、町内に鉄道はありません。しかし、これだけ人口が増加しているわけですから、交通網の発展があればいいなと思っています。例えば、福岡市営地下鉄が福岡空港駅から延伸し、志免町に駅ができ、それから糟屋郡の他の町までつながればとても便利になると思います。県道68号も交通量の増加で渋滞が多く発生しているのですが、それも解消できるのではないかと思っています。

**宮野** 私は女性が活躍できる、また活躍しやすい町になればいいと思っています。

**花岡** それから子どもと高齢者もね。みんなにやさしい町づくりができればいいですよ。

**高木** 年齢に関係なく、みんなが参加し、楽しむことができる町は、理想ですよ。スポーツ協会もその一助となればと思います。

**伴** 商工会の立場から言わせていただきますと、福岡市や糟屋郡の方々に志免町に呼び込めるような仕組みを作りたいと考えています。そのために、例えば物産館や歴史資料館が新設されることを期待しています。



盆踊り大会



志免町成人式のあとに集まった東区公民館元アンビシャス広場のみなさん



志免町商工まつりでの「しめたもん」

## お互いが認めあい、尊重するまちづくり



人権を尊重する町民のつどい

人権の意識の浸透を促すため、「志免町人権教育・啓発基本指針」を策定し、啓発を行ってきました。

その他にも「人権を尊重する町民のつどい」の開催や、人権相談などを行ってきました。

また、「志免町男女共同参画推進条例」を制定し、男女共同参画の推進に取り組んでいます。

これからは、身近に相談ができる体制づくりに取り組み、人権侵害のない町を作ります。

## 町民が学びあい、高めあうまちづくり



綱引き大会

町民がスポーツ・文化活動への意欲を高められるよう、軽スポーツの講習会の実施や、団体への補助を行ってきました。

また、公共施設についても使用料の見直しや老朽化施設の補修・改修に取り組んできました。

生涯学習館では、地域活動の実践者を育成する講座を行っています。

町民の誰もがスポーツ・文化活動に親しむことができる環境づくりに努めます。

## 町民が活発に交流し、自主的に活動するまちづくり



「おおきな木」活動風景

地域活動や住民活動を活発にしていくなために、ボランティア活動や住民活動の情報を発信し、ネットワーキングを行いしました。また、地域公民館役員研修を通じた人材育成や、老人クラブ・シルバー人材センターでの高齢者人材の活用などの取組みを進めてきました。

今後は、社会変化に対応した地域自治の仕組みづくり、多様な目的に応じた団体の支援や町民への情報提供を行っていきます。

## 住み続けたいと思える、魅力と活力あるまちづくり



シメツチャ

町の魅力を発信し、ふるさと意識を高めるため、ホームページのリニューアルやイベントの支援、文化財・伝統文化の周知に努めてきました。また、地場産業を維持するため、町村フェアなどへ参加してきました。

これからは、住民に地域への愛着をもってもらうための認知度を上げるためのシティプロモーション活動を行います。

また、旧志免鉱業所竪坑槽を、町のシンボルタワーとして未来へ残していきます。

## 子どもを安心して生み育てることができるまちづくり



子育て広場

保育ニーズの高まりや多様化に対応するため、保育園・学童保育の増設や、子育て支援センターを開設しました。

保育園や学童保育の待機児童の解消に努めるとともに、妊娠から子育て期にわたり、支援の充実や、出産・育児の負担を軽減する取組みを進めます。

また、障がい児保育や学校での特別支援教育の推進など子どもの発達に応じた支援を進めるとともに、障がい児の相談体制の充実に努めました。

今後、子どもの発達に応じた支援について、就学前から就学後まで、支援体制の充実に取り組めます。

## 子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちづくり

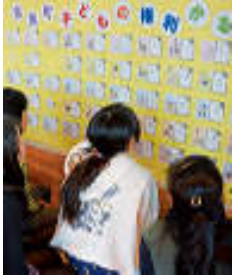


授業風景

子どもたちの人間性・創造性・社会性・国際性を育むことを目標に教育行政を推進しています。特別な教育的支援を必要とする子どもへの対応として、学級補助員の配置や不登校支援教室の設置を行うほか、児童・生徒が安心して学べるように、各小中学校の耐震補強・大規模改造・エアコン設置を実施しました。

「授業づくり」「集団づくり」「習慣づくり」を3つの柱とし、学力向上に取り組んでいます。また土曜授業での地域人材の活用や読書ボランティアの読み聞かせ活動など、学校・地域・家庭が連携しています。

## 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できるまちづくり



子どもの権利かるた

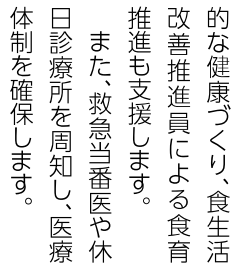
子どもを成長過程にある人として認め、子どもが安心して生きる権利を保障する「子どもの権利条例」を九州の自治体で初めて制定しました。

子どもの生きる力を育むために、地域での体験活動や安心して過ごせる遊び場や居場所の充実をはかりました。

「子どもの権利条例」の周知と理解促進に取り組み、児童虐待や権利侵害のない、子どもが自分らしく安心して生きることができると「づくりを進めます。

また、様々な子どもたちが参加できる体験活動を実施し、子どもの健全育成を推進します。

## 町民が健康を保ち向上するまちづくり



健康しめ21 推進イベント(栄養展)

町民の健康づくりを促進するため、疾病の早期発見・早期予防のための検診を拡充しました。

精神疾患に関しても、心の健康づくりに向けた情報提供と相談体制を確立し、専門相談員等(精神保健福祉士)による電話相談を実施し、予防に努めました。

今後は、町民の健康意識を高め、健康づくり活動を促進するため、「健康しめ21」に基づき、ライフステージに応じた主体的な健康づくり、食生活改善推進員による食育推進も支援します。

また、救急当番医や休日診療所を周知し、医療体制を確保します。

## 高齢者が地域で安心して暮らすことができるまちづくり



介護予防教室(うきうきルーム)

高齢者が慣れ親しんだ地域で暮らすため、生きがいづくりや健康づくりを進めてきました。

介護予防事業の充実、認知症高齢者の見守り体制の強化、医療と介護の連携強化、施設整備など介護サービスの充実に取り組んできました。

また、地域での老人クラブ活動やシルバー人材センターなどの高齢者の生きがいづくりへの支援を行ってきました。

今後も、高齢者の見守り活動の支援や、高齢者の就労を含めた社会参加の促進、高齢者の生活支援のための多様なサービス整備を進めていきます。

## 障がいのある人が安心して暮らすことができるまちづくり

また、障がいのある人が地域で自立した生活ができるよう、福祉サービス事業所、教育機関など様々な機関と連携を深め、一人ひとりの状況や生活に対応したサービス利用や様々な支援につなげます。

今後も国の制度改正に沿って取組みを行います。

また、障がいのある人の関係機関で構成する自立支援協議会で情報共有等を行いました。

また、障害者総合支援法等、国の制度改正に沿って、障がいのある人が適切なサービスを利用できるように取り組みました。



自立支援協議会研修会

## 適正な社会保障等ができるまちづくり

また、生活に困窮する人の相談に対応するため、県福祉事務所や民生委員・児童委員と町との連携をはかりながら、県の施策や制度に即した取組みや支援を行います。

公平な負担で社会保障を支えるために、医療費の適正化をはかり、特定健診のPRに重点を置き、受診の促進をはかりました。

国民健康保険税の収納率向上に努め、国民健康保険・後期高齢者医療の健全な運営に努めています。



特定健診

## 自然環境を維持し、保全するまちづくり



クリーンアップうみ川

貴重な緑地の保全をはかるため、補助金の交付や、買収による緑地の町有地化に努めました。

また、自然環境保護活動として、毎年、ボランティア団体主催による宇美川の清掃活動を支援し、年4回の宇美川の水質調査を行っています。さらに、植林活動にも取り組みました。

今後は、自然保護に対する町民の意識を高めるため、このような活動への参加を促進し、宇美川の良好な環境を守ります。

また、子どもたちの環境作品展の学習機会を通じて、子どもたちの自然に対する意識を高めます。

## ごみの減量と資源再利用を進め環境にやさしいまちづくり

地球温暖化防止と資源の有効利用を進めるため、分別等のごみ出しルールの徹底やリサイクルの意識向上に向けて、町民への啓発を進めます。

ごみ処理環境の維持のため、可燃ごみはごみ燃料化(RDF)施設「クリーンパークわかすぎ」に搬入し、不燃ごみは「宇美志免リサイクルセンターエコー」で選別・資源化に努めてきました。

また、ごみ減量化に向けて、ごみ収集業者、環境監視員との連携によるチェック体制の強化をはかるほか、広報等にごみの量の毎月比較を掲載し、啓発活動を行っています。



子どもたちの環境作品展

## 事故・犯罪を防ぐまちづくり



交通安全教室

自主的な地域防犯体制の強化のため、青色回転灯付パトロールカーを貸し出しできる体制を整えました。消費者問題についても出前講座を開催し、啓発に努めました。

また、道路の区画線のカラー塗装など交通ルールを守る環境を整えたり、小学校で交通安全教室を行うなど交通安全意識の啓発を行いました。

今後は、地域ぐるみの防犯活動の促進と防犯環境を整えます。また、交通安全に対する意識を高めるため、交通安全教室の開催や地域防犯パトロールによる啓発を行い、さらに、消費者トラブルに対する相談や、周知啓発活動を実施します。

## 災害に強いまちづくり

自助(自分の身を守る)と共助(助け合って地域を守る)の意識を高めるとともに自主防災組織の防災力向上のため、防災出前講座や防災訓練等の支援を引き続き行っていきます。

また、災害時の地域防犯の担い手である自主防災組織の結成・育成のため、防災出前講座や防災訓練等の支援を行いました。

また、災害時の地域防犯の担い手である自主防災組織の結成・育成のため、防災出前講座や防災訓練等の支援を行いました。



防災警戒学習

## 清潔で美しいまちづくり



花づくり事業

清潔で美しい町づくりのため、ポイ捨て防止やモラル向上に向けて、啓発活動を行っています。

春と秋に町内一斉のクリーンアップ作戦を実施し、美化活動へ町民参加を促進するための啓発や呼びかけを行いました。また、「町を花いっぱいにする」の思いから団体や学校へ花苗を配り、花植えをしていただいています。

そのほか、ペットのふん害を予防するため、飼い主へのマナー啓発を進めたり、掲示物の設置をしています。

環境問題啓発のため、環境監視員によるごみ分別・排出場所のルールなども実施します。

## 暮らしを支える生活基盤が整ったまちづくり



ほふやま浄水場

町の生活基盤（水道・下水道・道路・水路・公園・広場等）についての整備はほぼ完了しており、維持管理が中心となっています。

今後は、町民の生活の利便性向上のため、「志免町都市計画マスタープラン」に沿った土地利用を進めています。また、「志免町水道事業ビジョン」によって安全な水を安定して供給できるように、計画的な維持管理を行っています。

さらに、都市計画道路・志免宇美線の早期完成や橋梁改修など、安全で便利な道路環境を整えていきます。また、下水排水路の改良も進めています。

## 町民と行政が共に課題解決に取り組むまちづくり



総合計画研究会

社会情勢の変化とともに、行政に対するニーズは複雑化・多様化しています。

そこで、「志免町みんなの参画条例」を制定し、町づくりに参画するときのルールづくりや意識改革を進めました。

また、行政だけでは解決が難しい問題を町民とともに解決するため、協働事業提案制度を実施し、「協働」に対する意識向上に取り組むとともに、事業の促進をはかりました。情報提供と共有を進めるため、町民の意見を聞く機会を拡充し、自主的な活動を行う人材の育成に取り組んでいます。

## 将来にわたって持続可能なまちづくり



ふるさと納税のパンフレット

財源を確保するため、収納対策の強化や、コンビニ収納導入による納税者の利便性向上に取り組む、収納率が向上しました。

健全な財政運営を行うため、経費の削減、税収確保に努めるほか、ふるさと納税の活用など税金以外の収入確保に努めています。

また、「公共施設等総合管理計画」の策定・推進とともに、行政評価を継続して、業務改善による効率的・効果的な行政運営に努めます。自治体間で意見交換等を通じて、連携体制の強化をはかります。

## 質の高い行政サービスを提供するまちづくり



職員研修

質の高い行政サービスを提供するために人事評価制度を活用し、職員のスキルアップをはかるため、研修機会を確保しました。

さらに、職員に対するメンタル面でのサポートについて、健康診断の実施や産業医面談の実施などを行いました。

# まちとともに 暮らしていく!

志免町では、「町民と行政が共に課題解決に取り組む町をつくる」ことを目標としています。ここでは、様々な活動をとおして、町を支えてくれている方々にお話を聞きました。

志免町社会福祉協議会は昭和38年に任意団体として発足し、昭和54年に現在の社会福祉法人「志免町社会福祉協議会」（以下、社協）に改編されました。

発足当時の事業は葬祭の祭壇貸付や世帯厚生資金の貸付が主な事業でしたが、法人化後は高齢者・婦人・母子などの福祉事業に裾野が広がり、現在では居宅・訪問・通所介護事業や障がい者（児）支援、子育て支援事業、ボランティア団体の支援など、地域の福祉推進の中核としての役割を担っています。

森内さんは昭和10年生まれ、鹿児島県出水市のご出身です。福岡大学進学後は糟屋郡から2年間を通学、それを縁に志免町に居を構えました。

平成25年に社協会長に就任し、6年目を迎



志免町教育委員・東区アンビシヤス広場実行委員  
藤原 愁子さん

藤原さんは現在、志免町教育委員会委員を務めており、志免東小学校区の児童を対象に平成15年に開設された、「東区アンビシヤス広場」を見守っています。

アンビシヤス広場は、地域のボランティアや指導員が見守る「子どもたちの居場所（放課後子ども教室）」で、県内では360ヶ所が設置されています。

藤原さん「東区アンビシヤス広場は東区公民館を主な施設に町内会や子ども会、老人会の協力を得て開設しました。当時の活動は手探りの状態でしたが、子どもたちが集まって自由に遊び、自然体験やスポーツ等の様々な体験活動ができるような取組みを行いました。また、地域の皆さんも積極的に関わってくださいました。」

## 「志免町の素晴らしさを多くの人に伝えたい」

水野さんが代表を務める「志免68（ロッパチ）」は、町内の理髪店が志免町を盛り上げたいと集まって出来たグループです。町内の中央を走る県道68号（福岡太宰府線）にちなんで名付けられました。

水野さん「篠栗町の知人で篠栗四国八十八ヶ所をモチーフにした『88』のTシャツで町の活性化をしている話を聞き、志免町の理髪店仲間と『志免68』を作りました。その後は同業者だけでなく、県道68号沿いの飲食店や理容室、スポーツ用品店など、現在では30店舗が参加してくれています。」

「志免68」のTシャツは「ROUTE 68 SHIME」を統一したデザインとして各店舗がオリジナルカラーリング（全30色）で作っています。それぞれのお店が個性を競っています。

水野さん「デザインは68号の数字と、国の重要文化財になっている『旧志免鉱業所竪坑槽』を組み込みました。篠栗88は、それがお遍路さんのシルエットになっています。Tシャツのほかにも、パーカーやポロシャツといった衣服から、肩掛けバック・ランチバック・キーホルダー・クッションカバーまで68グッズとして広がっています。」

この活動は現在、「宇美町」にも「宇美88」として広がりを見せています。また、平成28年から「志免68」主催の音楽ライブイベント「タテコウヤライブ」を開催しています。多



## 「一人ひとりが生き生きと暮らせる環境づくりを」

えた今年、その職を後進へ譲られました。

森内さん 「社協の仕事といわれて、一言で答えるのは難しいほど、子育て世代から障がい者（児）・婦人・高齢者まで幅広い世代に関わって支援を行っています。しかし、社協で地域の困りごと全てを担うには限度があります。町民の皆さんが共に助け合い、協力し合っていけば、住民のつながりも強くなり、社協の役割も軽減されると思います。」

志免町の65歳以上の高齢者人口は1万人（志免町の人口約4万6000人）を超えて、高齢化率も23%近くになっています。

森内さん 「社協の重要な仕事の一つが介護保険事業（居宅・訪問・通所介護）です。利用者へのニーズにあったサービスを提供するには多くの有資格者の人材が必要です。しかし、現場の人材不足は深刻で、需要に見合った人材確保が出来ていません。社協では職員一人ひとりが生き生きと働ける環境づくりに取り組んでいます。また、『ふれあい・いきいきサロン』『子育てサロン』『居場所づくり』などを充実させ、地域での福祉活動への支援も行っています。」と語ります。



志免町社会福祉協議会 前会長  
もりうち たいら  
森内 平さん

## 「自主性や社会性、協調性を身に付けた子どもたちに」

開設から16年が経過し、これまでに多くの児童が広場に集まり、年齢を超えて同じ時間を共有することで自主性や社会性、協調性を身に付けたといえます。

藤原さん 「広場に来るようになった児童には変化が見られます。『自分から積極的に行動するようになった』『進んであいさつするようになった』『思いやりのある行動がとれるようになった』など。上級生が下級生のお世話をする姿は微笑ましく、成人してから思いやりの気持ちを持ち続けてくれていると思います。」

現在、東区アンビシヤス広場は、毎週金曜日・土曜日に開所しています。ピンポン・ボール遊び・バドミントンといった運動から鬼ごっこなどの自由な遊びまで、子どもたちの居場所として柔軟に対応しています。また、月に2回土曜日に、ネパール出身の先生と一緒に楽しく遊びながら英語を学んでいます。

藤原さん 「アンビシヤス広場は、世代を超えた多くの地域住民との交流も行っています。町内会の餅つき大会や夏祭り、どんど焼きなどの伝統行事にも積極的に参加し、児童が地域の人たちと関わることで『幅広い視野』を持ち、グローバルな視点を身に付けることができると思います。」と、様々な形での交流を望まれています。

彩なゲストを招いてのライブは県内でも注目されています。

水野さん 「堅坑槽の素晴らしさを多くの人に知ってもらいたいと音楽ライブを企画しました。会場では小学生が描いた志免68ロゴの塗り絵大会の表彰式も行っています。この塗り絵には子どもたちに志免の素晴らしさや大人になっても志免に住み続けて欲しいとの願いもあります。」と語られます。



「志免68」代表  
みずの たかお  
水野 孝生さん

## 「ごみを減らし、再利用できることをみんなに知ってほしい」

志免町では、ごみを減量するとともに資源として再利用する取組みを行っています。リサイクル団体の「エコネットしめ」では、環境の保全や自然環境の大切さを教える活動など、様々な取組みを行っています。

**案浦さん** 「行政の支援や特定非営利活動法人『エコネットふくおか』との交流から、22年前にリサイクル団体『エコネットしめ』を創設しました。その後は、循環型社会を目指した3R（リデュース・リサイクル・リユース）活動を続けています。」

と語るの代表を務める案浦さん。3R活動の普及のために出前講座や小学校での特別授業なども行っています。**案浦さん** 「児童には小さな時から自然環境の大切さやごみ減量への意識を持ってもらいたいと思います。そのため、各小学校をまわって『わりばしリサイクルの授業』を行っています。木のわりばし3膳を紙に加工して再利用すれば、A4紙1枚になることや、竹のわりばしを加工してマドラーなどをつくることなどを、会話劇を交えて伝えています。そうすることでエコ活動に興味を持ってく



志免町消防団 団長  
伊野 貴文さん

「志免町消防団」は、戦後の近代消防として昭和22年に誕生しました。以後、これまで29名の団長の下、「自らの町は自ら守る」という信念で、危険な火災現場や災害活動、復旧・搜索活動など、町民の安全で安心な暮らしを守り続けています。

幸さんは平成6年に志免町消防団に入団されました。その後は班長、副分団長、分団長、副団長を歴任しています。

**幸さん** 「23歳の時に勤めもあって入団し、大きな怪我をすることなく、団員活動が続けられてきました。そのなかでも未だ鮮明に記憶している災害は、平成15年と21年の豪雨です。幸いにして死者は出ませんでした

## 「共助が当たり前になる地域社会の形成を」

志免町町内会は昭和35年に誕生しました。大型マンション等の建設で1町内会の世帯数は急増し、1町内会当たりの人口は1500人・650世帯になりました。現在、町内会は30を数えるほどに増加しました。

立花さんは志免町町内会連合会会長を務めて2期目になります。町内会のまとめ役として様々な事業の改善に取り組んでいます。

**立花さん** 「別府の町に衣料品小売業を開業して40年になります。現在は、学生服の店として営業しています。開業当時の別府は、のどかな田園風景が広がっていました。その後は、福岡空港や博多駅にも近いという立地から、住宅や大型マンションが次々と建設され、人口・世帯数は増えていき、風景も変わっていきました。」

人口の増加とともに、小学校の数も増え、現在志免町には4つの小学校があります。志免西小学校は、町内の児童数の約3分の1を占める1210名の児童が通っています。その町内会数も増加していて、現在、志免西小学校校区には10の町内会があります。

**立花さん** 「これまで、人口・世帯数増加に伴う町内会の分割も行われていきました。また、大型マンションの集合体で1つの町内会となっているところも多くあります。また、町内には昔から町に住んでいる方が多



エコネットしめ 代表  
あんのうら やすこ  
案浦 康子さん

ればばいと考えています。」  
また、ごみの再利用の活動も行われています。「廃油石けん」は、町内の家庭等から回収した廃油を原料にするため、河川などの環境保全にもつながっています。また、米ヌカやモミガラ、油カス、魚カスなどの有機物を有用微生物群（EM）で発酵させた「EMボカシ」を、生ごみに混ぜ合わせれば「発酵肥料」を作ることができ、生ごみを減量することができます。  
案浦さん 「行政の支援で向ヶ丘1丁目に作業場を作っていたとき、廃油からの石けん作りや、EMボカシ作りを行って、配布・販売までをしています。こういった活動から、多くの人々がエコ活動に関心を持ち、参加してくれることで自然環境にやさしい町づくりが実現すると思います。」と語られます。

## 「町民の生命と財産を守る責任」

が、目の前で乗用車が流されていくなか、必死に災害対応したことを覚えていています。」  
その後、平成30年に第29代志免町消防団長に就任され、170名の団員のトップとして日々消防活動に務めています。  
幸さん 「初代団長から連綿と受け継がれてきた、志免町消防団長の不屈の精神と決断力は、団長法被に込められており、就任当初から責任の重さを感じています。火災現場で大事なことはもちろん消火・鎮火ですが、それ以上に大切なことが、現場で活動する団員の生命を守ることです。これは代々団長からの教えだと思っています。また、自分たちの町を守りたいという気持ちは全国の消防団員全てが持っています。しかし、団長の判断、分団長の判断一つで、現場での負傷者、殉職者が出るのも事実です。状況によっては一旦撤退するという団長の決断力も必要だと思っています。」  
そのような志のなか、団員数が条例定数200名に達していないことを危惧されています。  
幸さん 「20歳代の若い方にも積極的に入団して欲しいと思っています。そのためには志免町消防団一丸となって広報活動にも努めています。」  
と、消防団への一人でも多くの入団を望んでいます。



志免町町内会連合会 会長  
たちばな たかのぶ  
立花 孝信さん

い地域と、別府のように他地区から志免町に移住されてきた人たちによる地域があります。それぞれの地域に特徴があり、地域に合わせた町内会活動を行っています。」  
町内会は、災害時に避難所運営や災害支援、安否の確認などの大きな役割を担っています。また、高齢者の見守りや子育て支援などにも町内会は不可欠です。  
立花さん 「近年の災害多発を考えると、町内会は地域防災や地域での福祉活動やボランティア活動にも必要な組織です。町内会の皆さんが行事やイベントに参加することで、『連帯』と『輪』が広がり、共助が当たり前になる地域社会を目指す志免町町内会になるよう尽力したいと思っています。」  
と、共助の大切さも語られます。

# 広報で振り返る 平成の志免町

町の広報は昭和43年の創刊から平成31年4月号までに612号を刊行しています。ここでは、平成年間に発行した広報紙のなかから、印象深い記事を集めてみました。





### 平成16年5月号 (433号)

志免炭鉱跡地の無償譲渡が決定し、4月1日から町の所有になることを報じています。また、教育行政の目標と主要施策や男女共同参画行動計画の事業実施状況など、町が進める計画を取り上げています。



### 平成2年1月号 (261号)

平成2年10月に県内で開催された「とびうめ国体」。志免町では相撲競技の会場となりました。この1月号では国体前に相撲競技を行った子どもたちが表紙になりました。



### 平成22年1月号 (501号)

平成21年12月8日に旧志免炭業所竪坑櫓が、国内に現存する最大規模の竪坑櫓として、国の重要文化財に登録されました。



### 平成6年10月号 (318号)

この年は、昭和53年の「福岡大洪水」を上回る100年に一度の大洪水となりました。小中学校のプールも使用中止になったことや、洪水対策本部から節水の呼びかけなどの記載があります。



### 平成26年5月号 (553号)

中の坪公園の機関車は解体が決定していましたが、大分県玖珠町からの申し入れがあったことを受け、玖珠町に無償で譲渡することになりました。4月10日に行われた移設作業の様子が表紙を飾っています。



### 平成12年9月号 (389号)

生涯学習サマーフェア（花火大会）と婦人会主催の盆踊り大会が開催され、その様子が表紙になっています。盆踊りでは、志免町出身の歌手：尾形大作さんが歌う「輪になろう」も取り入れ、幼児から大人まで踊りを楽しみました。



### 平成31年4月号 (612号)

町制80周年を迎える志免町の特集を行いました。今と昔を比較した写真を掲載し、その発展がわかりやすく表現されています。この号が平成最後の広報となりました。



### 平成15年8月 (特報)

平成15年8月に集中豪雨による水害が発生しました。広報も号外が発行されました。

# 民俗行事と文化財

町には、お祭りや獅子舞いなど、古くから行われている伝統行事があります。

また、「国指定文化財」と「県指定文化財」など多くの文化財が残されています。先人たちが遺してくれた宝とともに暮らし、大切に後世に引き継いでいきましょう。



ぎおん祭り（南里）

毎年7月に行われる祇園社の祭礼です。



石投げ相撲（志免）

毎年9月に岩崎神社で行われる万年願相撲大会です。



獅子舞い（吉原）

毎年正月に獅子頭が戸ごとにまわる民俗行事です。

## もっと知りたい！文化財



志免町歴史資料室（本室・分室）には出土品や模型などを展示しています。タッチパネル式のパソコンで町内にある文化財に関するクイズやゲームを楽しめます。

### 志免町歴史資料室

所在地 志免中央1丁目2番1号  
（生涯学習2号館内）  
開館 9:00～17:00  
休室 毎週月曜日（祝祭日の場合はその翌日）  
年末年始（12/28～1/4）  
その他臨時休室することがあります。  
駐車場 町民センターの駐車場をご利用下さい。

#### 国指定文化財

七夕池古墳（史跡）  
（P58 MAP：⑩）  
旧志免鉱業所竪坑槽  
（重要文化財 建造物）  
（P58 MAP：⑪）

#### 県指定文化財

観応三年銘梵字石碑  
（有形文化財）  
（P58 MAP：⑫）  
志免鉱業所跡竪坑及び  
第八坑関連地区  
（P58 MAP：⑬）

#### 町指定文化財

萱葉古墳群出土品  
龜山石棺  
（P59 MAP：⑬）  
「黒田二十四騎図」絵馬  
（P58 MAP：⑭）

#### その他の文化財

五郎丸古墳群  
松ノ尾古墳群  
桜ヶ丘古墳群  
松ヶ上遺跡  
第八坑扇風機坑口プロペラ  
涅槃図絵（正覚寺）  
石地藏板碑（西念寺）  
聖観音立像（西福寺）

# 絵で見る平成時代

『志免町誌』（平成元年版）イラスト担当

尾崎 友一さん

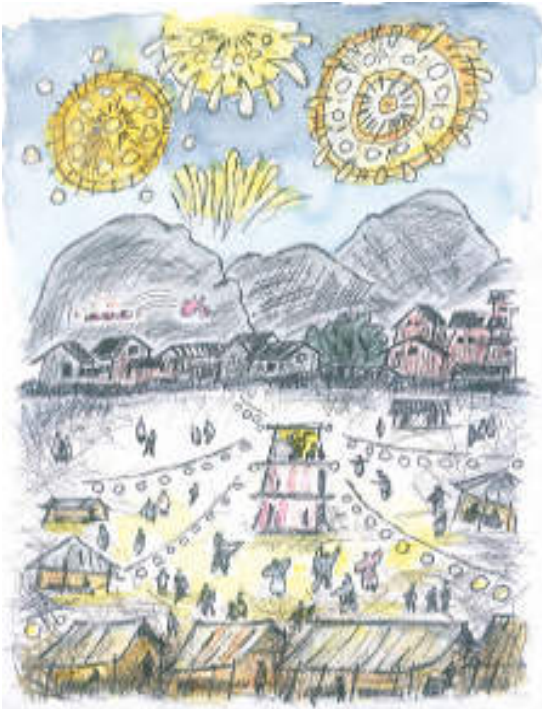


ジオラマの前に立つ尾崎さん

尾崎友一さんは31年前、『志免町誌』（平成元年版）の挿絵を描かれた人です。

その表現力と温かみのある画風は町誌の内容を引き立てました。また、志免町歴史資料室の展示ジオラマの背景も描かれました。

今回、平成の30年を振り返って、現在77歳の尾崎さんの記憶のなかから3点描いていただきました。



「夏の花火大会」

平成20年頃に町民広場からボタ山を望んだ風景です。毎年行われる盆踊り大会では、ボタ山から花火が打ち上げられていました。ボタ山で花火の火の粉が枯草に飛び火し、消防団が消火する様子も描かれています。

『志免町誌』に掲載されている尾崎さんのイラストの一部



炭釜納屋風景

（『志免町誌』P614より）



殿様の松茸狩り

（『志免町誌』P267より）



「秋の吉原」

平成30年に志免南小入口の交差点付近から北側を見た秋の風景です。稲狩りのコンバインの奥には、今もある火の見櫓が見えます。現在の志免町は田園風景がわずかとなりました。



「春の宇美川」

平成10年頃に久保田橋の手前から東側を望んだ風景です。川には鳥や魚がたくさんいて、釣りをしている人をよく見かけました。左手は今もある桜並木です。

町制80周年を記念して、志免町の公式キャラクター「シメツチャ」が誕生しました。10体の候補のなかから、町民と町立小中学校の児童・生徒のみなさんの投票で選ばれました。

町には「シメツチャ」以外にも多くのキャラクターたちがいます。



### シメツチャ

平成30年7月誕生。しめ飾りが角になっている羊のキャラクター。「SHIME」のSを頭に、Mを体に、模様としてデザインされています。「志免」の地名は、宇美八幡宮の祭礼のときにしめ縄が張られた土地であることが由来という説があり、その「しめ縄」をモチーフに子どもたちと一緒に遊ぶことができるように活発なイメージになっています。

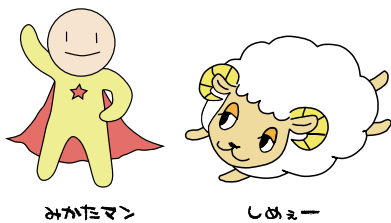
# 志免町キャラクターだょ! 全員集合



### しめたん・しめりん

平成14年4月から使用される、志免町歴史資料室のキャラクター。しめ町にたんこうがあったので「しめたん(男の子)」、女の子は「しめりん」。モチーフはもぐらで、資料室周辺にいつもいて、町の歴史を遊びながら教えてくれます。

## 番外編



### みかたマンとしめえー

平成19年4月から使用される、子どもの権利相談室(スキッズ)のキャラクター。この月に「志免町子どもの権利条例」が制定され、子どもの味方の「みかたマン」と、ほんわかした動物「ひつじ」と「志免町」にかけて作成した「しめえー」が登場しました。



### かすにゃん

平成23年11月から使用される、粕屋南部消防組合のキャラクターです。木にのぼり、下りれなくなったところを、消防士さんに助けてもらい、それをきっかけに消防士になりました。



### しめたもん

平成26年6月から使用される、志免町商工会のキャラクター。「ふくおか志免ブランド」のイメージアップをはかる、好奇心旺盛な3歳の男の子です。

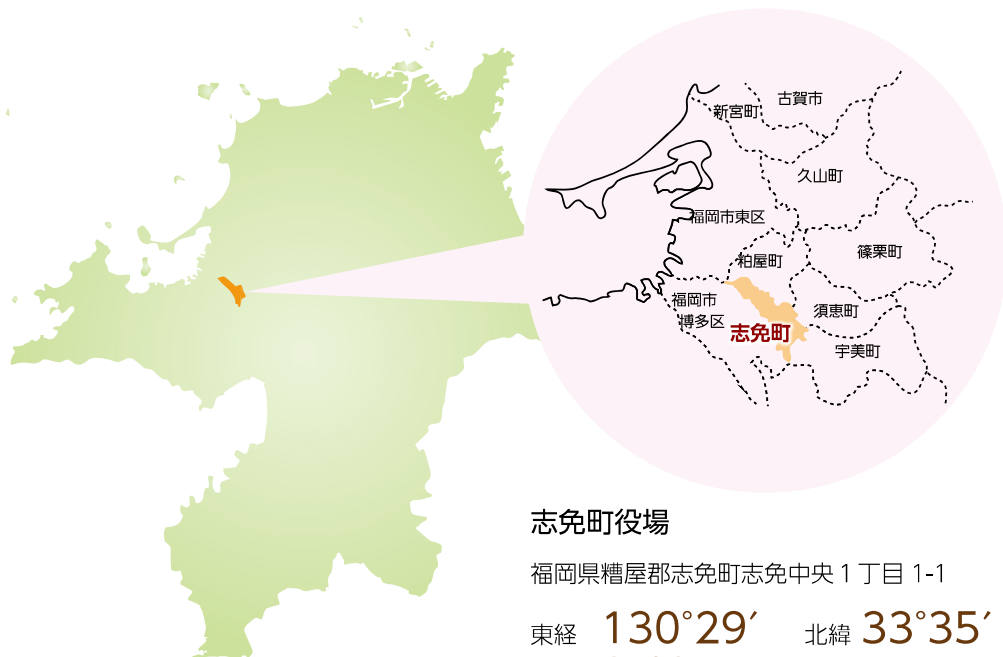


### たてのすけ・ぼたやまん・ぼたこ

平成24年8月から子育て支援課で使用される、町職員作成の非公式キャラクター。竪坑槽をモチーフにした「たてのすけ」、ポタ山をモチーフにした「ぼたやまん・ぼたこ」がいます。



# 数字でみる 平成の志免町



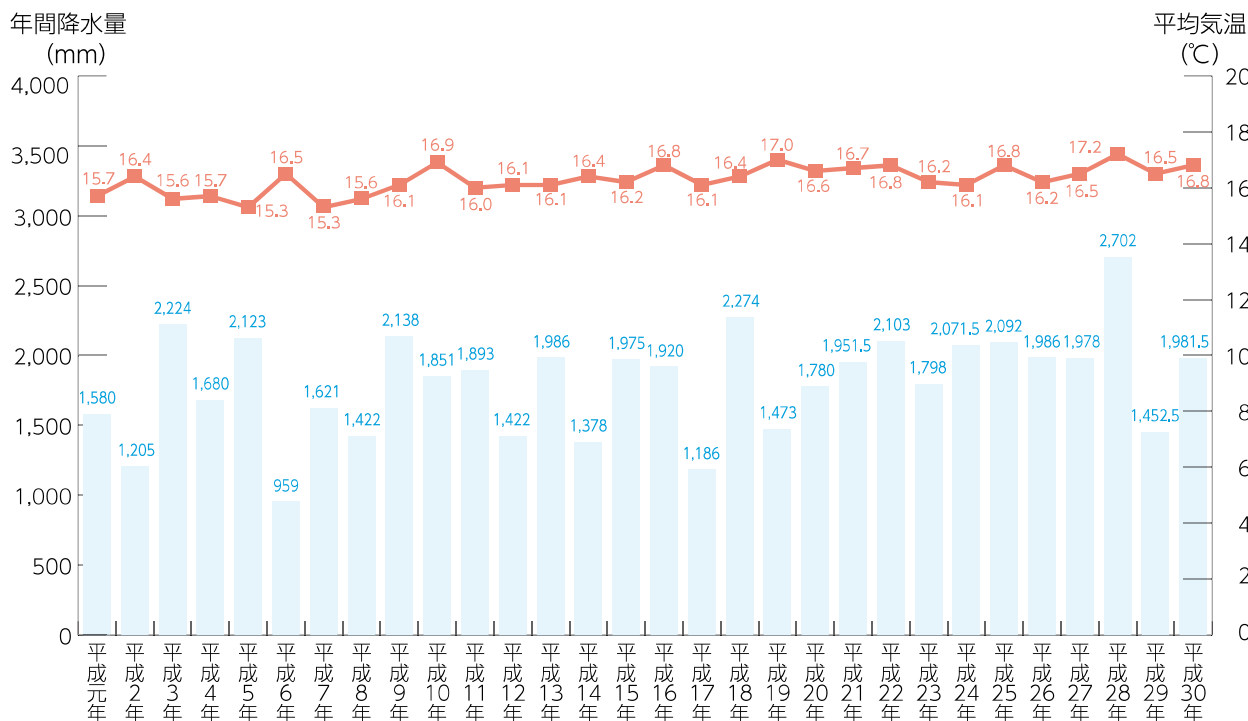
福岡市の東に位置する志免町は、総面積8・69km<sup>2</sup>の県下では3番目に小さな町です。福岡市の中心部まで約8kmという地の利もあり、ベッドタウンとして住宅開発が進み、人口は増加しています。現在、人口は4万6000人を超え、人口密度は5007人/km<sup>2</sup>（平成22年国勢調査）と全国の町村で第1位の町になりました。

## 志免町役場

福岡県糟屋郡志免町志免中央1丁目1-1

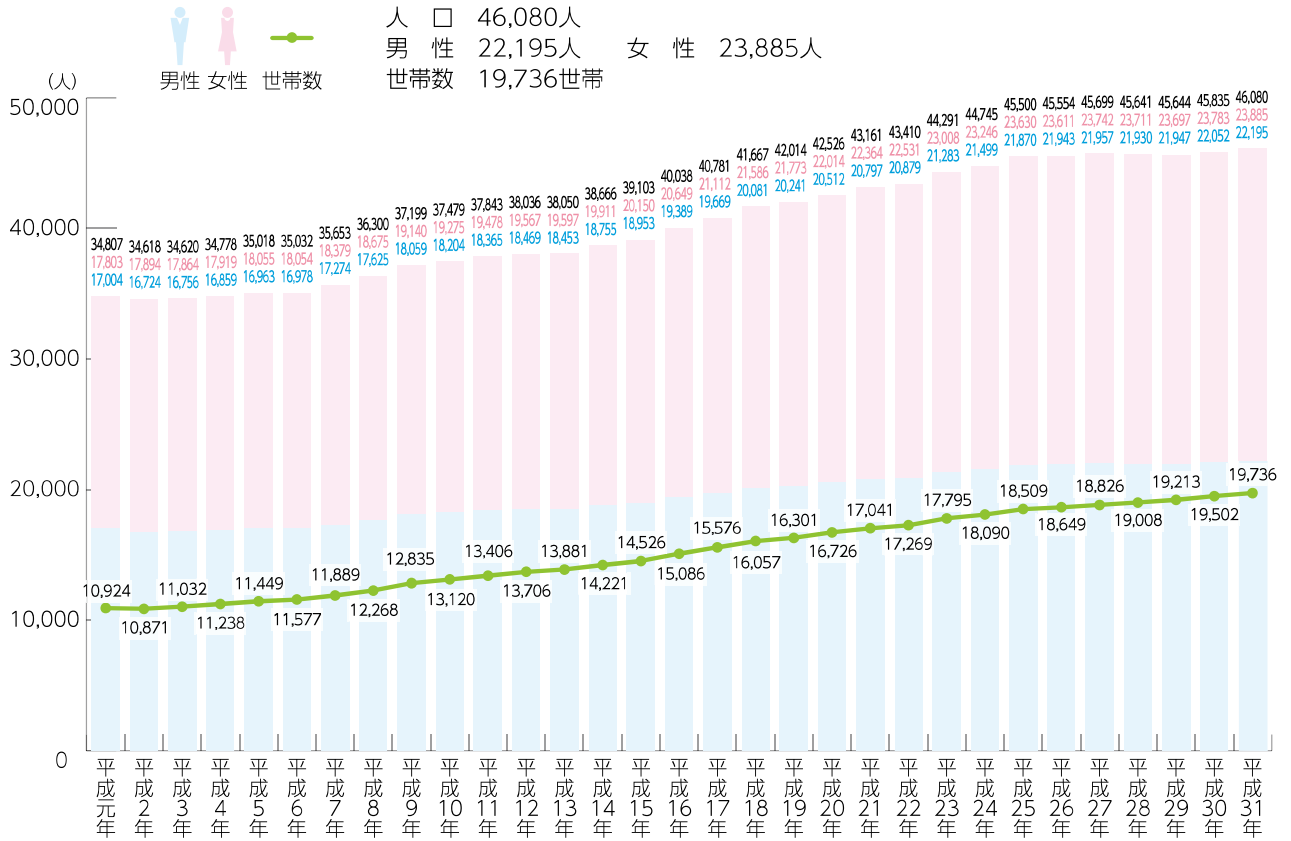
東経 130°29′ 北緯 33°35′  
 面積 8.69 km<sup>2</sup>  
 南北 7.91 km 東西 1.64 km

## ■気象概況（年間降水量と平均気温）



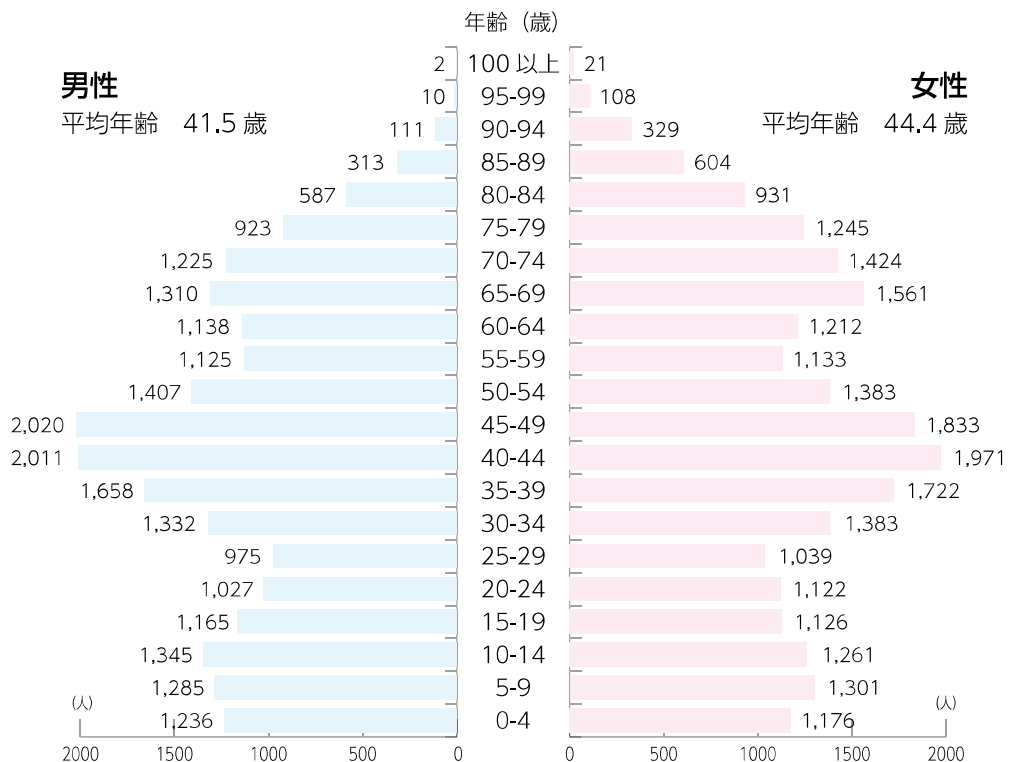
（資料：福岡管区気象台 太宰府地域気象観測所）

## ■人口・世帯数の推移



※ 平成13年までは住民基本台帳に基づく人口、平成14年からは志免町の全人口の記載をしています。  
 (平成31年4月1日現在)  
 (資料:志免町住民課)

## ■人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)  
 (資料:志免町住民課)

## ■行政区別人口

行政区	人口	男性	女性	世帯数
田富	1,923	926	997	855
吉原	1,888	918	970	638
水鉛	258	130	128	87
成和	1,765	854	911	692
桜丘一	1,256	585	671	535
桜丘中央	1,606	762	844	672
桜丘南	1,183	547	636	508
石橋台	679	348	331	282
東区	1,340	648	692	609
志免二	1,385	680	705	660
志免三	1,875	916	959	840
志免四	2,822	1,342	1,480	1,159
志免五	1,070	499	571	482
志免六	2,768	1,362	1,406	1,173
向ヶ丘	750	356	394	315
坂瀬団地	861	344	517	417
松ヶ丘	623	259	364	287

行政区	人口	男性	女性	世帯数
南里一	2,069	1,019	1,050	871
南里二	2,973	1,436	1,537	1,227
南里三	1,473	707	766	608
王子八幡	1,639	799	840	663
別府一	2,597	1,257	1,340	1,216
別府	2,386	1,186	1,200	1,064
別府二	1,614	775	839	658
別府三	935	440	495	382
サンリヤン	1,357	645	712	555
モントーレ	1,053	487	566	538
鏡	1,662	849	813	723
アネシス	1,140	561	579	445
御手洗	1,050	531	519	499
やすらぎの郷	44	11	33	42
志免福祉会	36	16	20	34
総合計	46,080	22,195	23,885	19,736

(平成31年4月1日現在)  
(資料：志免町住民課)

## ■産業別就業者人口の推移

年	第1次産業 就業人口(人)	人口比率(%)	第2次産業 就業人口(人)	人口比率(%)	第3次産業 就業人口(人)	人口比率(%)	就業人口 計
平成2年度	157	1.0	5,021	30.4	11,317	68.6	16,495
平成7年度	141	0.8	4,918	27.1	13,109	72.1	18,168
平成12年度	92	0.5	4,754	25.5	13,763	73.8	18,652
平成17年度	108	0.6	4,280	22.1	14,635	75.6	19,362
平成22年度	98	0.5	3,898	19.4	15,360	76.5	20,091
平成27年度	119	0.6	4,312	20.5	15,772	75.0	21,018

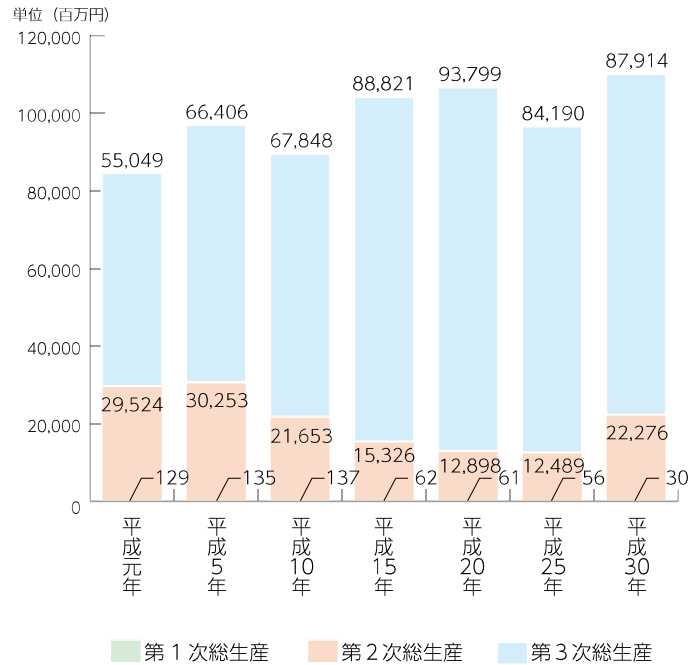
\*第1次産業：農林業・水産業など

\*第2次産業：製造業など

\*第3次産業：商業・サービス業など

(資料：福岡県市町村要覧)

## 産業別生産額の推移



(資料：福岡県市町村要覧)

## し尿処理の推移

年度	し尿と汚泥の搬入量 (トン)	
	搬入量	当初対比 (13年度 100%)
平成13年度	11,452.39	100%
平成14年度	11,349.22	99%
平成15年度	10,198.59	89%
平成16年度	9,555.60	83%
平成17年度	8,069.05	70%
平成18年度	6,678.54	58%
平成19年度	5,943.36	52%
平成20年度	5,140.82	45%
平成21年度	4,784.13	42%
平成22年度	3,944.34	34%
平成23年度	3,202.06	28%
平成24年度	3,063.77	27%
平成25年度	2,687.15	23%
平成26年度	2,620.79	23%
平成27年度	2,605.89	23%
平成28年度	2,536.93	22%
平成29年度	2,308.72	20%
平成30年度	2,034.23	18%

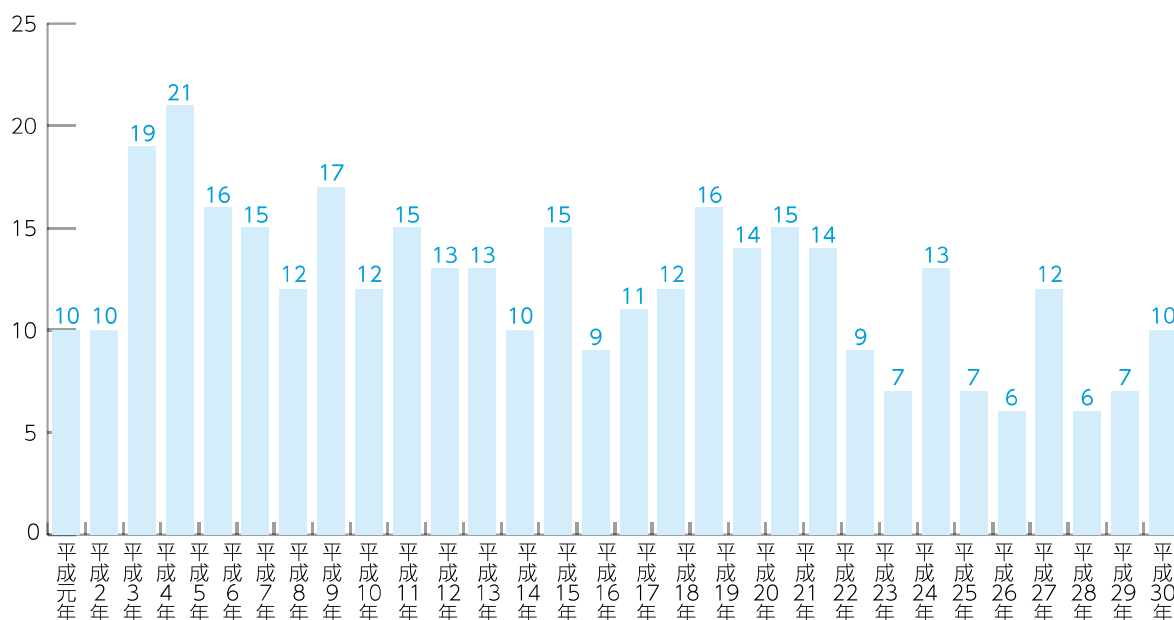
(資料：志免町生活安全課)

## ごみ処理の推移

年度	ごみ量 総合計 (トン)
平成10年度	8,081.00
平成11年度	8,315.50
平成12年度	8,547.40
平成13年度	8,773.90
平成14年度	9,014.10
平成15年度	9,689.70
平成16年度	9,979.05
平成17年度	10,319.80
平成18年度	10,713.00
平成19年度	10,689.40
平成20年度	10,693.30
平成21年度	10,269.40
平成22年度	10,386.10
平成23年度	10,744.60
平成24年度	10,967.90
平成25年度	11,187.70
平成26年度	11,076.70
平成27年度	11,187.20
平成28年度	11,194.20
平成29年度	11,206.60
平成30年度	11,395.40

(資料：志免町生活安全課)

## ■火災発生件数



(資料：粕屋南部消防組合統計)

## ■消防団構成分団及び消防車の種別

分団名	所属警戒担当区域	消防車の種別
第一分団	田富町内会、成和町内会（一部）	可搬ポンプ積載車
第二分団	吉原、水鉛、桜丘一、桜丘中央、桜丘南町内会	可搬ポンプ積載車
第三分団	志免三、志免五、向ヶ丘、坂瀬団地、石橋台町内会、成和町内会（一部）	消防ポンプ自動車
第四分団	東区、松ヶ丘町内会、成和町内会（一部）	消防ポンプ自動車
第五分団	志免二町内会	消防ポンプ自動車
第六分団	南里一、南里二、南里三、王子八幡町内会	可搬ポンプ積載車
第七分団	別府、別府一、鏡、アネシス町内会	消防ポンプ自動車
第八分団	別府二、別府三、サンリヤン、モンローレ町内会	可搬ポンプ積載車
第九分団	御手洗町内会	可搬ポンプ積載車
中央分団	志免四、志免六町内会	消防ポンプ自動車

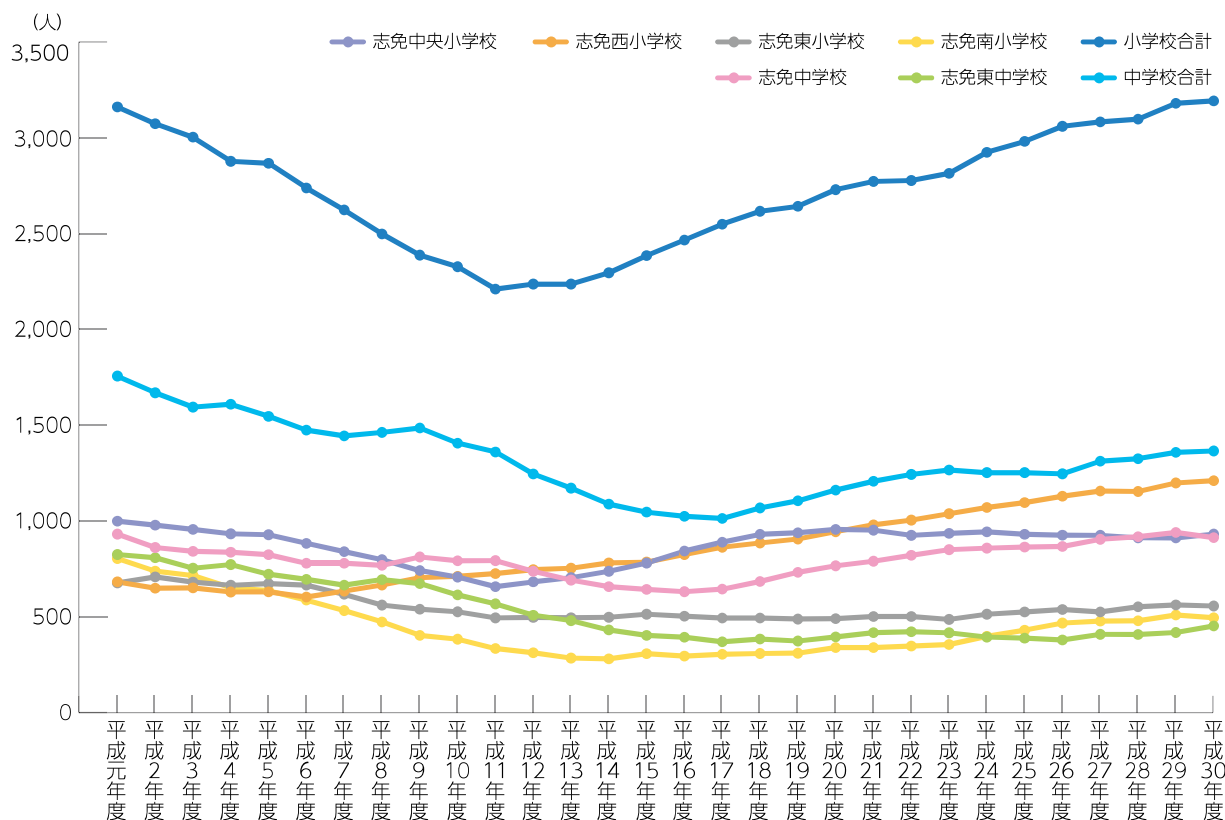
(資料：志免町生活安全課)

## ■上水道の普及率

平成元年度	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度
98.0	98.1	92.7	96.9	99.4	99.7	99.7

(資料：志免町上下水道課)

## 志免町立小・中学校の児童・生徒数の推移



年度	志免中央小学校	志免西小学校	志免東小学校	志免南小学校	小学校合計
平成元年度	999	682	676	804	3,161
平成2年度	978	649	708	738	3,073
平成3年度	956	651	681	715	3,003
平成4年度	933	629	664	651	2,877
平成5年度	928	630	673	636	2,867
平成6年度	883	603	665	587	2,738
平成7年度	840	634	617	532	2,623
平成8年度	798	666	561	473	2,498
平成9年度	741	704	539	403	2,387
平成10年度	707	711	526	383	2,327
平成11年度	657	725	494	334	2,210
平成12年度	682	746	496	312	2,236
平成13年度	704	753	495	284	2,236
平成14年度	737	781	497	280	2,295
平成15年度	780	785	513	307	2,385
平成16年度	843	825	503	295	2,466
平成17年度	889	863	493	304	2,549
平成18年度	930	885	493	308	2,616
平成19年度	938	906	488	310	2,642
平成20年度	956	944	490	339	2,729
平成21年度	952	980	501	339	2,772
平成22年度	925	1,004	501	347	2,777
平成23年度	935	1,038	486	355	2,814
平成24年度	943	1,070	513	398	2,924
平成25年度	930	1,096	525	430	2,981
平成26年度	926	1,129	538	467	3,060
平成27年度	925	1,156	525	477	3,083
平成28年度	912	1,154	552	479	3,097
平成29年度	911	1,198	562	509	3,180
平成30年度	931	1,210	556	495	3,192

志免中学校	志免東中学校	中学校合計
931	825	1,756
861	808	1,669
841	753	1,594
837	772	1,609
824	722	1,546
779	695	1,474
779	665	1,444
768	694	1,462
812	673	1,485
792	614	1,406
793	567	1,360
737	508	1,245
691	480	1,171
657	431	1,088
643	403	1,046
631	393	1,024
644	369	1,013
684	384	1,068
732	373	1,105
766	395	1,161
790	417	1,207
821	422	1,243
850	416	1,266
858	394	1,252
864	388	1,252
867	379	1,246
904	408	1,312
918	407	1,325
940	418	1,358
913	452	1,365

(資料：志免町学校教育課)

## ■志免町立小・中学校の概要



### 志免中央小学校

所在地 志免中央1丁目8-1

開校 明治6年

教育目標 「自分を愛し、人を愛し、ふるさと志免を愛し、夢の実現へ向けてたくましく生きる子どもの育成」



### 志免西小学校

所在地 別府2丁目4-1

開校 明治6年

教育目標 「調和のとれた豊かな心を持ち、成長の喜びを分かち合う子どもの育成」



### 志免東小学校

所在地 志免東1丁目1-1

開校 昭和49年

教育目標 「よく学びよく遊ぶ子どもの育成」



### 志免南小学校

所在地 吉原556

開校 昭和52年

教育目標 「豊かな心と表現力を持ち、たくましく生きる子どもの育成」

### 志免中学校

所在地 片峰4丁目3-1

開校 昭和22年

校訓 「個性伸展 敬愛協力 生産創造」

教育目標 「豊かな心と考える力を持ち、21世紀をたくましく生きる生徒の育成」



### 志免東中学校

所在地 志免東4丁目4-1

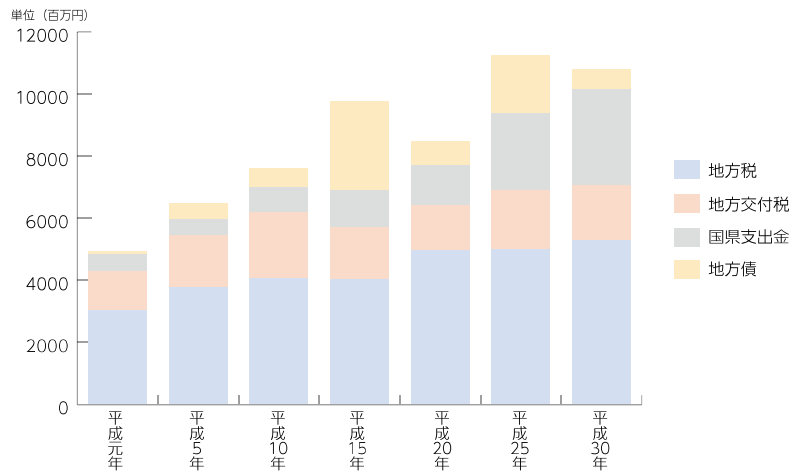
開校 昭和55年

校訓 「創造 敬愛 自主」

教育目標 「ふるさと志免を愛し、志を持って、人生を切り拓くことのできる生徒の育成」



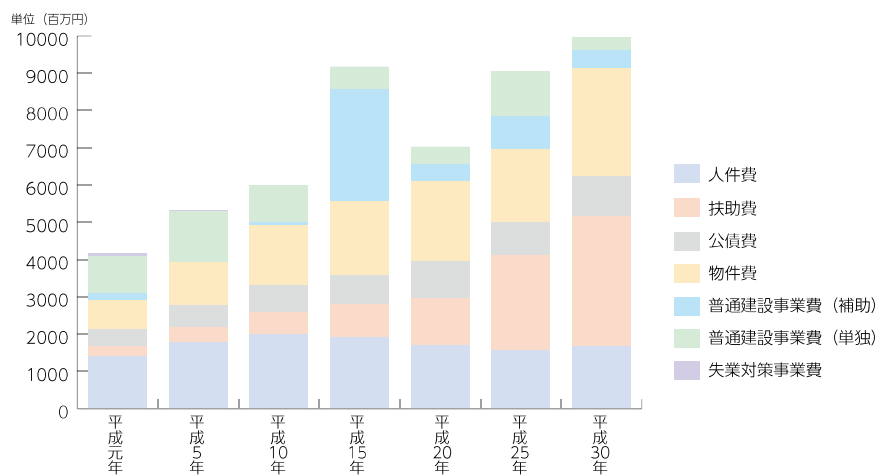
## ■歳入



	平成元年度	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度
地方税	3,043	3,778	4,077	4,031	4,972	4,997	5,301
地方交付税	1,246	1,656	2,114	1,673	1,441	1,912	1,741
国県支出金	546	528	797	1,192	1,306	2,477	3,105
地方債	110	509	614	2,865	740	1,855	635
歳入計	6,399	8,260	9,514	13,024	10,346	13,231	13,460

※平成30年度は予算の数値になります。  
(資料：福岡県市町村要覧)

## ■歳出



	平成元年度	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度
人件費	1,410	1,780	1,983	1,908	1,701	1,567	1,663
扶助費	256	403	598	881	1,259	2,538	3,488
公債費	468	588	735	787	1,005	903	1,083
物件費	780	1,154	1,597	1,996	2,124	1,957	2,903
普通建設事業費(補助)	188	-	91	3,008	458	880	468
普通建設事業費(単独)	985	1,372	979	580	467	1,194	341
失業対策事業費	69	14	-	-	0	0	0
歳出計	6,017	7,892	8,894	12,035	9,859	12,596	13,460

※平成30年度は予算の数値になります。  
(資料：福岡県市町村要覧)



## ■志免町 歴代町長 (平成～現在)

南 里 久 雄	昭和 50 年 5 月～平成 11 年 4 月
南 里 辰 己	平成 11 年 5 月～平成 27 年 4 月
世 利 良 末	平成 27 年 5 月～現在

## ■志免町議会 歴代議長 (平成～現在)

池 田 重 信	昭和 62 年 5 月 1 日～平成 3 年 4 月 30 日
西 本 僥	平成 3 年 5 月 1 日～平成 11 年 4 月 30 日
堀 清 策	平成 11 年 5 月 1 日～平成 15 年 4 月 30 日
大 林 弘 明	平成 15 年 5 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日
古 庄 信一郎	平成 19 年 5 月 1 日～平成 23 年 4 月 30 日
大 林 弘 明	平成 23 年 5 月 1 日～平成 28 年 6 月 3 日
大 西 勇	平成 28 年 6 月 3 日～平成 31 年 4 月 30 日
丸 山 真智子	令和 元 年 5 月 1 日～現在



### 志免町 町章

町章のデザインは、カタカナで町名「シメ」を表現し、平和のシンボル「はと」が胸をふくらませ、青空に向けて大きく羽ばたく姿をかたどっています。



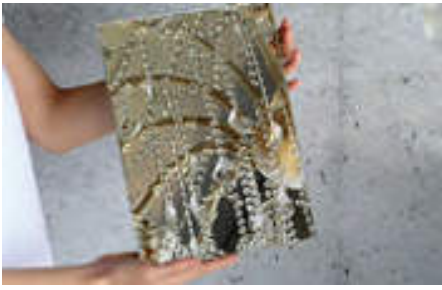
### 志免町 町花 さくら

古くから人々に愛されている桜の花は、緑あふれる町づくりを目指すシンボルとして、志免町の町花として制定されました。



### 志免町役場

〒 811-2292  
福岡県糟屋郡志免町志免中央1丁目1番1号  
Tel : 092-935-1001 (代表) Fax : 092-935-9459  
web : <https://www.town.shime.lg.jp>



## かがみ

鏡の本来の目的である「人を映す」ということにこだわり、透明度の高い、高品質な鏡だけを扱っています。

株式会社 九鏡

所在地 南里7丁目5-30

## 志免町の特産品



## まげもの

杉やヒノキの板を熱を加えて曲げて、それを桜の皮で綴じて作られるものです。

博多曲物 玉樹

所在地 別府西2丁目2-16

# 志免町イラストマップ





志免町長

世利 良末

## 志免町制80周年記念誌 発刊にあたって

志免町は、先人のためめめ努力と英知によって発展を遂げ、本年4月に町制施行80周年を迎えることができました。

明治22年に田富村・吉原村・志免村・南里村・別府村・御手洗村が合併し、「志免村」が誕生してからは、炭鉱の隆盛により人口が増えました。その後、昭和14年に町制を施行し「志免町」となり、高度経済成長とともに発展します。

炭鉱の閉山後も、成長する福岡市のベッドタウンとして人口が増え続け、町は活気にあふれています。

その一方で、昭和28年の西日本水害、昭和48年の集中豪雨で大きな被害を受けたことを忘れてはなりません。平成15年と平成21年の豪雨においても宇美川の堤防が決壊するなどの被害がありました。

しかし、志免町は過去の試練を乗り越えてきました。町民の皆さまの町づくり活動の積み重ねによって、今日の志免町があるのだと思っています。

この記念誌は、町の歴史を振り返り、これからの町の将来を見すえるための資料となるように作成しております。

さて、このたび令和2年に行われる東京オリンピックの聖火リレーが、志免町を走ることが決まりました。この町制施行80周年と聖火リレーを新たな出発点として、この素晴らしい志免町がいつまでも続くよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

本誌が、町の歩みを皆さまとともに共有し、今後の町政に対する理解や関心を深めていただくための一助となれば幸いです。

令和元年10月1日





町民センター大ホール緞帳



志免町

## 志免町制80周年記念誌

令和元年（2019）10月1日発行

発行 志免町

〒811-2292

福岡県糟屋郡志免町志免中央1丁目1番1号

TEL 092-935-1001 FAX 092-935-9459

WEB <https://www.town.shime.lg.jp/>



表紙：昭和57年開庁時の庁舎